

FIRE REPORT 2020



令和2年宗像地区消防出初式「直上曲水」
～テーマ曲「パプリカ」～

福岡県
宗像地区消防本部

Firereport2020 は、宗像地区消防本部の消防現勢及び2019年中の消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

なお、このFirereport2020 の統計資料は原則として暦年をもって表していますが、予算その他との関係から会計年度で収録したものもあります。

令和2年8月

【表紙】

表紙の「直上曲水」は、消防活動の基本である「水」「人」「消防車」のすべてを融合させて行うもので、「放水」「隊形変換」と「音楽」をシンクロさせるには、技術・体力・精神力、そしてチームワークが求められるアトラクションです。まさに「消防」を表現するにふさわしい新しいアトラクションとして平成26年から消防出初式で披露し、住民から好評を得ています。

一目でわかる宗像消防

人 口	面 積	世 帯 数
163,322人	172.7km ²	71,218世帯
署 所	消防職員	平均年齢(消防職員)
2署2出張所 1分遣所	150人 (うち再任用短期職員9人)	37.5歳
防火対象物	危険物施設	消 防 水 利
3,970棟	170施設	消火栓 1,711基 防火水槽 714基
出火件数	救急出動件数	消 防 団 員
30件	6,559件	915人



むなかたの消防

管内の概要	1	財政の状況	31
地域紹介	2	過去3年間における消防負担金状況	31
消防本部(署)の配置現況	4	令和2年度宗像地区事務組合	
組合・消防本部沿革	6	一般会計当初予算	32
組合の組織	12	平成30年度消防費決算額と	
消防本部・消防署の組織	13	一般会計決算額との比較	32
消防本部の事務分掌	15	平成30年度消防費決算と	
消防署の事務分掌	17	消防費基準財政需要額	33
消防相互応援協定の状況	19		
消防本部の主なできごと	20		

総務

職員の階級別定員および実員	22	防火対象物の現状	34
職員の階級別任用、退職状況	22	消防用設備等の設置状況	35
職員の配置状況	22	防火管理者を必要とする事業所の状況	36
職員の階級別年齢	23	防火対象物の予防査察状況	37
職員の階級別勤続年数	24	建築同意事務処理状況	38
職員の資格(講習)取得状況	25	中高層建築物(5階以上)の現状	39
職員の研修状況	26	工事整備対象設備等着工届	
消防大学校の教育状況	27	事務処理状況	40
職員の表彰受賞状況	27	法令に基づく届出処理状況	40
訓練・指導等の実施状況	28	危険物施設の現況	41
職員の教養実施状況	28	危険物施設立入検査実施状況	41
消防力の状況	29	危険物規制事務処理状況	42
面積・人口および世帯数に対する		宗像地区防災協会	43
常備消防力	30	宗像地区幼少年婦人防火委員会	44
消防団の現況	30	防火団体構成表	45

予防

警 防

車両・資器材等

現有車両の諸性能	46
消防車両等の配置状況	48
救助資器材の配置状況	50
消防水利の現況	50
救急資器材の配置状況	52

火 災

令和元年中の火災概況	53
火災の状況	54
火災種別件数	55
火災種別損害額	55
市別出火件数	56
市別損害額	56
宗像市内の火災状況	57
福津市内の火災状況	58
月別出火件数及び損害状況	59
過去10年間の出火件数の推移	60
原因別出火件数	61
過去10年間の主な出火原因の推移	61
建物用途別出火件数	62
建物火災の出火原因	62
覚知別出火件数	63
曜日別出火概況	63
時間別出火概況	64
気象別出火件数	65
月別・市別出動車両・出動人員	66

救 急

令和元年中の救急概況	67
過去10年間の救急出動件数及び 人口の推移	68
過去10年間の3大事故種別(急病・交通事故 ・一般負傷)の出動件数の推移	69
管内総括表	70
市別総括表	71
救急自動車による現場到着所要時間別 出動件数の状況	72
医療機関収容所要時間	73
曜日別出動件数	74
時間別出動件数	75
傷病程度別搬送人員	76

年齢別搬送人員	77
救急隊員が行った応急処置等の状況	78
急病にかかる疾病分類別搬送人員	79
応急手当普及啓発活動状況	80
消防隊による救急活動状況	81

救 助

令和元年中の救助概況	82
管内総括表	83
主な救助活動	83
市別救助出動件数	84
月別救助出動件数	84

通信指令

119番受信状況	85
----------	----

消 防 団

消防団の活動	86
消防団の組織	87
福岡県消防協会 宗像地区連絡協議会の組織	89
消防団員の定員および実員	89
消防団の出動状況	89
消防ポンプ車等の装備状況	89

宗像地区は、福岡県北部に位置し、福岡市と北九州市という2つの政令指定都市の中間にあるという立地の良さと、東西に横断するJR鹿児島本線や国道3号線および国道495号線により二大都市への交通アクセスが充実し、住宅団地や大学、大型商業施設などが相次いで進出しました。これに伴い、急激な都市化が進み、生活環境や都市基盤が整備され、教育や文化、子育て支援などが充実し、人口も増加してきました。人口減少時代に突入している現在においても、人口を維持し続けています。



宗像市日の里から玄界灘を望む

また、北東には四塚の峰が連なり、西は玄界灘に面し、白砂青松の地は玄海国定公園の一角をなしており、古墳や住居跡が点在し、玄界灘を中心に活躍した「宗像海人賊」によってさまざまな大陸文化がもたらされ、宗像大社、鎮国寺、宮地嶽神社をはじめとする国宝や重要文化財にも指定された神社、仏閣等も点在し、「古事記」や「万葉集」にも地名がみられるなど、古から栄えたことを物語っています。

さらに、福岡県と宗像市、福津市は協力して「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置して、世界遺産登録に向けて官民一体となった取り組みを推進し、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録の国内候補に選ばれ、平成28年1月28日に正式版推薦をフランス・パリのユネスコ世界遺産センターに提出し、受理されました。平成29年5月6日に、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群について、イコモス(国際記念物遺跡会議)より、「記載」が適当(ただし、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮、宗像大社辺津宮、新原・奴山古墳群を除く)との勧告がなされました。さらに7月9日には、ユネスコの世界遺産委員会により、イコモスによって除外された残りの構成資産も世界文化遺産に登録されました。

管内の面積・人口および世帯数

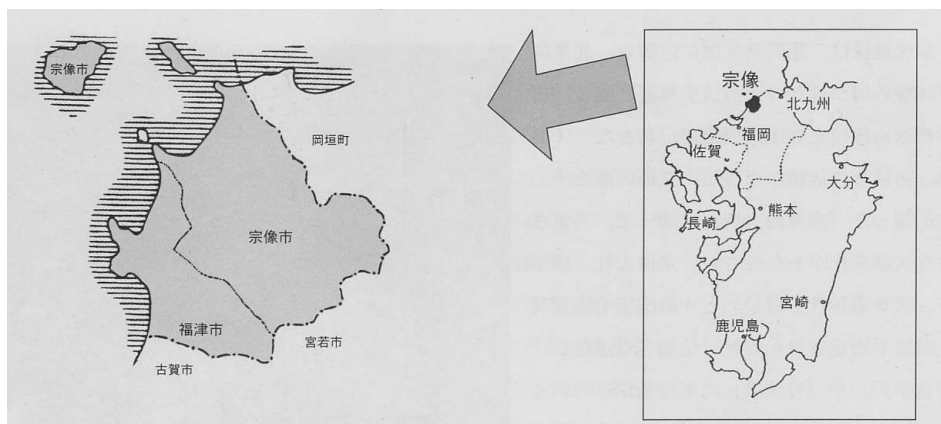
(令和元年12月31日)

構成市	面積(km ²)	人口(人)	世帯数(世帯)
宗像市	119.94	97,075	42,976
福津市	52.76	66,237	27,994
合計	172.7	163,312	70,970

※市町村合併の状況

- 平成15年4月1日宗像市と旧玄海町が合併。新「宗像市」となる。
- 平成17年1月24日旧福岡町と旧津屋崎町が合併。「福津市」となる。
- 平成17年3月28日旧大島村が宗像市へ編入合併。現在の「宗像市」となる。

地域紹介



宗像市 MUNAKATA

- 人口 / 97,075人
 - 世帯数 / 42,976世帯
 - 面積 / 119.94km²
- 「海・山・川に生まれ、教育・文化と歴史がいきるコミュニティのまち」



海上神幸「みあれ祭」

◆宗像市のプロフィール◆

福北大都市圏のほぼ真ん中に位置する宗像市。市の北西部は玄界灘に面し、白い砂浜の海岸線と樹齢200年以上の黒松並木が続くさつき松原は、玄海国定公園の中でも屈指の景観を誇っています。市内には、日本最古の神社である宗像大社や弘法大師が開基した鎮国寺、装飾古墳の桜京古墳など多くの歴史的遺跡が点在しており、玄界灘の孤島沖ノ島では、純金製指環、青銅鏡、ペルシャカットガラスなど約12万点もの国宝や重要文化財が発掘され、別名「海の正倉院」と呼ばれており、この沖ノ島（宗像大社沖津宮）、小屋島、御門柱、天狗岩、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮及び宗像大社辺津宮が世界文化遺産に登録されました。

また、美しい自然や歴史的文化遺産に恵まれた良好な環境の中、市内には2つの大学が立地し、総合文化施設である宗像ユリックスやむなかたりサーチパークなど、学術都市としての特徴を持っています。

福 津 市 FUKUTSU

- 人 口 / 66,237人
 - 世帯数 / 27,994世帯
 - 面 積 / 52.76km²
- 「人を、明日を、誇るまち。
福津。」

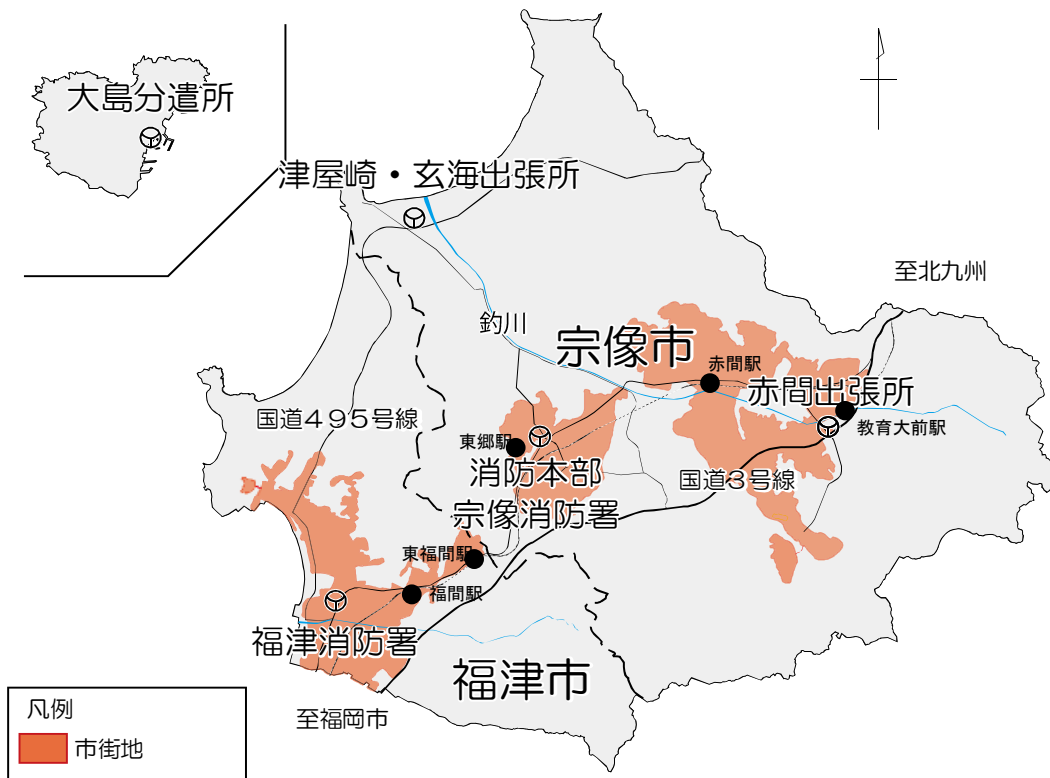
**福 間 海 岸**

◆福津市のプロフィール◆

福津市は、福岡県の北部で福岡市と北九州市の近隣に位置し、北東側は宗像市、南東側は宮若市、南側は古賀市に隣接しており、西側は玄界灘に面しています。また、東部を山、西部を海に囲まれ、特に海岸一帯と宮地嶽神社周辺の山林は、昭和31年に玄海国定公園に指定され、風光明媚な自然景観を形成しています。一方、交通網は、東西にJR鹿児島本線、国道3号線が延び、海岸線と併行して国道495線号が走っています。さらに、近くには九州自動車若宮インターチェンジ、古賀インターチェンジもあり、広域的な交通利便性にも富んでいます。このため、福津市は宮地嶽神社や津屋崎・福間海岸などを中心とした観光レクリエーションの場として、また、福岡・北九州両政令指定都市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域として、さらには、新鮮な食料品の生産供給地域としての広域的な役割もっています。また、平成29年7月9日に『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群として、福津市北部の勝浦・奴山に所在する新原(しんばる)・奴山(ぬやま)古墳群が世界文化遺産に登録されました。

消防本部(署)の配置現況

管内地図



(令和2年4月1日現在)

区分	庁舎全景(所在地)	庁舎の構造	職員・車両	摘要
宗像地区 消防本部	 宗像市田熊5丁目1番3号	敷地面積 4,520.23㎡ 鉄筋コンクリート造 及び鉄骨造 2階建 建築面積 1,397.38㎡	職員数25人 (内再任用者2人) 車両台数 4台	TEL (0940) 36-2425 FAX (0940) 37-0011
宗像消防署		延べ面積 2,425.32㎡ (訓練塔等を含む)	職員数58人 (内再任用者5人) 車両台数 13台	

区 分	庁舎全景(所在地)	庁舎の構造	職員・車両	摘 要
宗 像 消 防 署	赤 間 出張所  宗像市徳重2丁目8番1号	敷地面積 1,118.31㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 294.64㎡ 延べ面積 402.41㎡	職員数18人 車両台数 3台	TEL (0940) 32-6837 FAX (0940) 35-5195
	大 島 分遣所  宗像市大島1650-2	敷地面積 645.00㎡ 鉄骨ブロック造 平屋建 延べ面積 160.46㎡ (倉庫等を含む)	職員数3人 (内再任用者1人) 車両台数 1台	TEL (0940) 72-2310 FAX (0940) 72-2546
福 津 消 防 署	福 津 消防署  福津市西福間1丁目1番27号	敷地面積 1,029.66㎡ 鉄筋コンクリート造 2階建 建築面積 366.37㎡ 延べ面積 553.44㎡ (倉庫等を含む)	職員数38人 (内再任用者1人) 車両台数 6台	TEL (0940) 43-0521 FAX (0940) 43-7034
	津屋崎 ・玄海 出張所  宗像市牟田尻1860-41	敷地面積 1,165.00㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 214.55㎡ 延べ面積 307.28㎡	職員数8人 車両台数 2台	TEL (0940) 62-3815 FAX (0940) 62-1206

組合・消防本部沿革

(設立)

昭和48年11月15日宗像郡宗像町の日の里公団アパートにおいて、プロパンガスの爆発火災(死者2人、重軽傷者9人)が発生し、これに端を発し、直ちに宗像町議会で常備消防の必要性が議論され、これが郡内他町村へ波及し、広域消防設立への気運が高まった。

その後、数回にわたる郡内町村会議による協議の結果、宗像郡消防組合設立が決定され、昭和49年4月1日付をもって福岡県知事より消防組合設立の許可を受け、同年6月1日宗像郡消防本部、同年10月1日宗像消防署の設置を見るに至った。

(過程)

昭和 49 年 (1974)	4 月 1 日	初代組合長 由良半三郎氏就任
	6 月 1 日	消防本部(署)の設置に関する条例が組合議会において可決 初代消防長 宗實就任
	7 月 13 日	日本消防協会から広報車が寄贈される
	7 月 31 日	宗像郡消防本部(署)建設用地の確保及び福岡分署建設用地の購入決定
	9 月 1 日	消防本部(署)の仮事務所を、宗像町大字田熊1193番地の1の旧宗像農業改良普及事務所跡地に開設
	10 月 1 日	消防業務の一部(予防事務及び火災原因調査)を開始
	10 月 1 日	消防吏員40人採用(内38人が福岡県消防学校初任教育に入校)
	10 月 25 日	大島分遣所建設用地の確保決定 (大島村と借地契約を締結:無償期間2025年3月31日まで)
昭和 50 年 (1975)	10 月 15 日	消防庁舎(3署所)の建設工事契約及び着工
	3 月 17 日	日本損害保険協会及び日本自動車工業会から救急自動車各1台が寄贈される
	3 月 20 日	福岡県消防学校初任教育(38人)を修了し、実務に就いた
	3 月 31 日	消防庁舎(3署所)建築工事が完成
	4 月 1 日	消防庁舎(3署所)の開庁式及び消防業務が全面開始
	4 月 1 日	消防吏員11人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月 1 日	宗像町サイレン遠隔操作開始
昭和 51 年 (1976)	10 月 16 日	救助工作隊結成
	2 月 18 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車購入
	4 月 1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 16 日	二代目組合長 天野敏樹氏就任
	7 月 31 日	救助工作車購入
	10 月 1 日	消防吏員1人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11 月 15 日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
昭和 52 年 (1977)	11 月 22 日	日本損害保険協会から救急自動車が寄贈される
	12 月 7 日	本部敷地内に車庫1棟を建設
	3 月 1 日	広報紙「消防宗像」創刊号を発行
	3 月 31 日	救急無線取付工事完了
	6 月 6 日	人員搬送車を購入
	6 月 13 日	大島分遣所電動シャッター取付工事完了
	10 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
昭和 53 年 (1978)	10 月 29 日	化学消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
	3 月 24 日	(有)蒋田モータースから査察車が寄贈される
	昭和 54 年 (1979)	1 月 20 日
	10 月 1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月 25 日	大島分遣所危険物屋内貯蔵所完成
	11 月 1 日	本署消防訓練塔着工
	12 月 11 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈される
	12 月 20 日	本署少量危険物屋内貯蔵所完成

昭和 55 年 (1980)	1 月 22 日	本署仮設車庫完成
	2 月 7 日	宗像オートから水防用資機材運搬車が寄贈される
	3 月 13 日	本署消防訓練塔完成
	8 月 10 日	本署自家発電設備設置
	8 月 31 日	本署通信指令室増改築
昭和 56 年 (1981)	12 月 1 日	高層ビルガス爆発防ぎょ訓練実施(宗像市日の里)
	4 月 1 日	消防本部名称変更(宗像郡消防本部から宗像地区消防本部)
	4 月 1 日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 30 日	本署、タイプ室及び給湯室増改築
	10 月 25 日	玄洋福岡ライオンズクラブから指令車寄贈、本署に配備
昭和 57 年 (1982)	11 月 15 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈、本署に配備
	2 月 15 日	二代目消防長 山内伸夫就任
	3 月 30 日	福岡分署敷地拡張用地(301㎡)購入
	6 月 1 日	無線制ぎょサイレン(宗像、福岡、津屋崎、玄海)設置
	6 月 21 日	福岡分署車庫シャッター取付工事完了
昭和 58 年 (1983)	8 月 10 日	福岡分署敷地拡張工事竣工
	8 月 20 日	消防無線空中線改修
	9 月 30 日	福岡分署訓練塔(鉄骨造)完成
	11 月 1 日	本署訓練塔(鉄骨ALC)完成
	11 月 4 日	事務連絡車購入、本部に配備
昭和 59 年 (1984)	12 月 27 日	本署屋内訓練場改修
	12 月 27 日	本署倉庫兼書庫(鉄骨プレハブ造)完成
	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 31 日	査察車購入、本部に配備
	10 月 9 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
昭和 60 年 (1985)	11 月 20 日	消防ポンプ自動車を購入、福岡分署に配備
	3 月 4 日	乗用車購入、本部に配備
	4 月 1 日	三代目消防長 坂本守正就任
	5 月 2 日	指揮車購入、福岡分署に配備
	10 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
昭和 61 年 (1986)	10 月 12 日	救助工作車購入、本署に配備
	10 月 22 日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急自動車が寄贈され、福岡分署に配備
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 7 日	調査車購入、本署に配備
	5 月 14 日	広報車購入、本部に配備
昭和 62 年 (1987)	5 月 24 日	人員搬送車購入、本署に配備
	6 月 16 日	福岡分署改築工事竣工
	9 月 3 日	消防ポンプ自動車購入、本署に配備
	9 月 10 日	資機材運搬車購入、本署に配備
	8 月 18 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
昭和 63 年 (1988)	3 月 15 日	本部(署)庁舎増改築工事竣工
	5 月 26 日	福岡県総合防災訓練実施(玄海町鐘崎)
	6 月 2 日	三代目組合長 的場重郎氏就任
	9 月 1 日	本署通信指令室の移転工事着工

平成 元年 (1989)	2月 1日	本署通信指令室の改築工事完了
	2月 1日	消防緊急情報システム運用開始
	3月 17日	救急自動車購入、赤間出張所に配備
	4月 1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6月 1日	赤間出張所建設工事着工
	9月 27日	(社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車が寄贈され、赤間出張所に配備
	9月 30日	赤間出張所建設工事完了
	10月 9日	赤間出張所実働開始
	平成 2年 (1990)	4月 1日
5月 17日		(社)日本損害保険協会から救急自動車が寄贈され、赤間出張所に配備
7月 20日		神湊出張所建設工事着工
11月 20日		水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
12月 20日		神湊出張所建設工事完了
平成 3年 (1991)	12月 26日	神湊出張所実働開始
	3月 27日	玄洋福岡ライオンズクラブから救急自動車が寄贈される
	4月 1日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月 30日	福岡分署仮眠室ベット改修工事完了
平成 4年 (1992)	7月 25日	大島分遣所軽量シャッター取付工事完了
	10月 30日	訓練塔(主塔)改修工事完了
	3月 5日	水槽付消防ポンプ自動車購入、本署に配備
	3月 31日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(81.82㎡)
	4月 1日	消防吏員10人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8月 15日	大島分遣所内装工事完了
平成 5年 (1993)	10月 12日	四代目組合長 瀧口凡夫氏就任
	11月 27日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(45.05㎡)
	4月 1日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4月 1日	財務会計処理のためのコンピューター導入
	7月 10日	福岡分署シャッター取替工事完了
平成 6年 (1994)	10月 4日	40m級はしご付消防ポンプ自動車を購入
	2月 28日	日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)が寄贈される
	3月 17日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を戦友会を通じてミャンマーへ贈る
	4月 1日	四代目消防長 多賀富男就任
	4月 1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4月 19日	消防組合設立20周年記念式典開催 広報用ビデオ「出動!!ファイヤーファイター」制作 20周年記念誌「消防宗像(20年の歩み)」作成
	7月 29日	指令車(スバルレガシー・ワゴン)購入、本署に配備
	9月 6日	福岡無線中継局更新
	11月 11日	救急伝送システム運用開始、宗像水光会総合病院に設置
	平成 7年 (1995)	2月 17日
4月 1日		消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
4月 24日		乗用車(トヨタ・クラウン)購入、本部に配備
5月 27日		消防庁長官から、阪神淡路大震災の消防支援活動功勞として感謝状が贈られる
6月 30日		緊急消防援助隊発足(救急隊を登録)
9月 18日		赤間出張所増築工事完了
10月 18日		福岡分署内装補修工事完了
11月 1日		赤間出張所8人増員、1箇分隊増強
11月 1日		防災パンフレット「わが家の防災ガイド」を60,000部作成し、管内全世帯に配布する
12月 16日		消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、赤間出張所に配備
12月 28日	救急伝送システムを宗像医師会病院に設置(管内2ヵ所目)	

平成 8 年 (1996)	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	5 月 29 日	大規模災害時の応急救護所及び現場指揮所等施設のために、エアータント購入	
	9 月 12 日	事務連絡車(トヨタカラー・ワゴン)購入、本部に配備	
	10 月 7 日	大島村住民向けに、ネットワークサービス(オフトークシステム)運用開始	
	10 月 28 日	宗像消防署訓練塔改修工事	
	11 月 5 日	救急伝送システムを蜂須賀病院に設置(管内3カ所目)	
	11 月 27 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備	
	平成 9 年 (1997)	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
		7 月 1 日	調査車(トヨタハイエース)購入、本部に配備
		7 月 7 日	査察車(マツダカペラ・ワゴン)購入、本部に配備
8 月 28 日		福岡県知事から、消防防災功労団体として、消防本部に感謝状が贈られる	
11 月 4 日		化学消防ポンプ自動車(日野FD1JGB10643)購入、本署に配備	
平成 10 年 (1998)	11 月 21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、 福岡分署に配備	
	1 月 27 日	宗像消防署・福岡分署・大島分遣所改修工事完了	
	3 月 7 日	消防庁長官から優良消防機関として、消防本部に表彰旗が贈られる	
	4 月 1 日	宗像地区事務組合公平委員会事務が、宗像清掃施設組合から 宗像地区消防組合に移管される	
	11 月 25 日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、本署に配備	
平成 11 年 (1999)	12 月 21 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、 赤間出張所に配備	
	3 月 31 日	財務会計システムを更新	
	11 月 15 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、 神湊出張所に配備	
	11 月 18 日	指揮車(ニッサンセレナ)購入、本署に配備	
	11 月 26 日	福岡分署倉庫新築	
平成 12 年 (2000)	4 月 1 日	五代目消防長 吉武秋生就任	
	4 月 17 日	消防車救急先行システム開始	
	6 月 8 日	五代目組合長 池浦順文氏就任	
	8 月 29 日	救助工作車(日野KK-GD1JGDF)購入、本署に配備	
	10 月 17 日	広報車(トヨタカルディナ)購入、福岡分署に配備	
平成 13 年 (2001)	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	11 月 1 日	玄洋福岡ライオンズクラブから「インパルス消火システム」が寄贈され、 本署に配備	
平成 14 年 (2002)	1 月 29 日	消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備	
	2 月 1 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、本署に配備	
	2 月 15 日	神湊出張所倉庫増築工事完了	
	4 月 1 日	消防吏員 3 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	12 月 19 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、赤間出張所に配備	
平成 15 年 (2003)	4 月 1 日	旧宗像市と旧玄海町が合併新「宗像市」誕生	
	4 月 8 日	消防吏員 5 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	7 月 25 日	はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了	
	8 月 4 日	赤間出張所屋根防水工事完了	
	8 月 4 日	神湊出張所外壁塗装工事完了	
	8 月 29 日	資機材搬送車購入、本署に配備	
	10 月 1 日	六代目消防長 木村幸雄就任	
	平成 16 年 (2004)	4 月 7 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
7 月 10 日		本部(署)庁舎増改築工事着工	
平成 17 年 (2005)	1 月 24 日	旧福岡町と旧津屋崎町が合併「福津市」誕生	
	1 月 24 日	六代目組合長 原田慎太郎氏就任	
	1 月 31 日	本部(署)庁舎増改築工事完了	

	3月	28日	旧大島村が宗像市へ編入合併
	3月	28日	七代目組合長 池浦順文氏就任
	3月	31日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福間分署に配備
	4月	1日	緊急消防援助隊に消火部隊を登録
	4月	1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12月	17日	本部(署)庁舎改築第2期工事着工
	12月	19日	災害対応特殊高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)、緊急消防援助隊動態情報システム購入、赤間出張所に配備
平成 18年 (2006)	3月	7日	高機能消防指令センター総合整備事業完了、運用開始
	4月	1日	交替制勤務職員の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	4月	1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月	28日	福岡県総合防災訓練実施(福津市西福間)
	12月	21日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
平成 19年 (2007)	1月	1日	消防本部に救急課を設置
	3月	31日	宗像地区内の一部事務組合の統合により宗像地区消防組合が解散
※ 平成19年4月1日、宗像地区消防組合、宗像自治振興組合、宗像地区水道企業団及び宗像清掃施設組合が統合し、「宗像地区事務組合」となる。これに伴い3月31日をもって消防組合は解散。			
平成 19年 (2007)	4月	1日	旧宗像地区水道企業団、旧宗像自治振興組合、旧宗像清掃施設組合、旧宗像地区消防組合が統合し宗像地区事務組合発足
	4月	1日	初代組合長 池浦順文氏就任
	4月	1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	9月	1日	IP・携帯電話発信地表示システム運用開始
	11月	1日	財務会計システムを更新
平成 20年 (2008)	3月	31日	訓練塔補修工事(屋外階段設置等)完了
	4月	1日	消防吏員6人採用、内4人が福岡県消防学校初任教育に入校
	6月	16日	消防本部庁舎空調機器改修工事完了
	10月	1日	消防吏員1人採用、内3人が福岡県消防学校初任教育に入校
	10月	31日	人事情報システム導入
平成 21年 (2009)	1月	23日	福間無線中継局、ネットワーク設備改修工事完了
	2月	24日	消防・救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査実施(フィールドテスト)
	3月	6日	二代目組合長 谷井博美氏就任
	4月	1日	七代目消防長 乙藤富雄就任
	4月	1日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月	21日	庁舎耐震診断実施(本署・福間分署)
	8月	24日	赤間出張所の全面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(85.2㎡)
	12月	10日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、本署に配備
平成 22年 (2010)	2月	1日	事務局移転(宗像市多禮298番地)
	4月	1日	宗像地区事務組合水道事業統合
	4月	1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月	21日	三代目組合長 小山達生氏就任
	10月	1日	119番緊急通報に係る位置情報通知システム(統合型)運用開始
	10月	1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 23年 (2011)	2月	25日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福間分署に配備
	3月	14日	東日本大震災により緊急消防援助隊福岡県隊として宮城県亘理郡山元町へ消火隊及び救急隊各1隊(7人)出動
	4月	1日	八代目消防長 門脇 豊就任
	4月	1日	消防吏員6人採用、内3人が4月、内3人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校

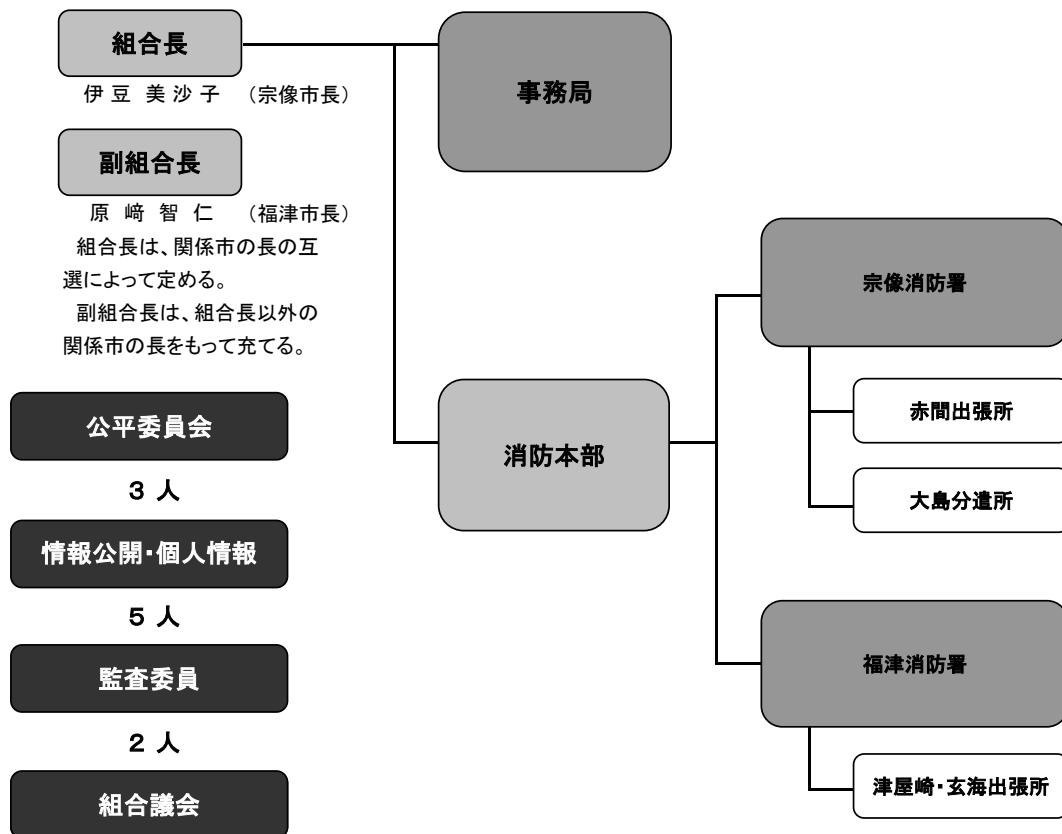
	12月27日	消防情報表示システム地図検索データ改修完了
平成 24 年 (2012)	3月28日	消防救急無線デジタル化基本設計完了 消防指令システム地図検索データ改修完了
	4月1日	消防吏員3人採用、内2人が4月、内1人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校
	5月21日	四代目組合長 谷井博美氏就任
	6月14日	赤間出張所外部改修工事完了
	9月21日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、神湊出張所に配備
	9月24日	高機能消防指令センター中間整備事業完了
	11月8日	宗像消防署訓練塔改修工事完了
平成 25 年 (2013)	2月21日	人員搬送車を更新
	3月19日	消防救急無線デジタル化実施設計完了
	4月1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 26 年 (2014)	7月16日	福岡分署公共下水切替及び1階2階トイレ改修工事完了
	2月3日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、赤間出張所に配備
	3月5日	支援車(日産エクストレイル)購入、本署に配備
	4月1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4月1日	交替制勤務職員の勤務体制を三部制から二部制とし運用開始
	5月21日	五代目組合長 小山達生氏就任
	7月11日	福岡分署空調設備取替工事完了
平成 27 年 (2015)	12月15日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福岡分署に配備
	12月25日	小型動力ポンプ付積載車(ダイハツハイジェット)購入、大島分遣所に配備
	3月18日	宗像消防署訓練塔屋上鉄骨補強、塗装工事完了
	3月18日	消防救急無線デジタル化整備工事完了
	4月1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8月20日	署活動用無線機を購入、署所へ配置
	9月3日	事務連絡車(日産ウイングロード)購入、消防総務課に配備
	10月1日	大島分遣所の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
平成 28 年 (2016)	11月13日	宗像地区消防本部屋上高圧線修繕工事完了
	2月5日	化学消防ポンプ自動車(日野SDG-GD7JGAA)購入、本署に配備
	2月12日	水槽付消防ポンプ自動車を「カンボジアでの不正を許さぬ会」を通してカンボジア王国:シアヌークビル特別市へ寄贈
	3月30日	福岡市消防局へ消防救急デジタル無線を接続完了
	3月30日	株式会社木村組より高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)1台が寄贈される、本署に配備
	4月1日	消防吏員9人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4月15日	平成28年熊本地震により緊急消防援助隊福岡県隊として熊本県益城町等へ消防車3台延べ42人出動
	5月21日	六代目組合長 谷井博美氏就任
	8月3日	アナログ無線撤去工事
	10月13日	宗像地区消防本部屋上及び2階ベランダ防水改修工事
	11月7日	はしご付消防ポンプ自動車(MLLLAH5-30WG)購入、本署に配備
平成 29 年 (2017)	4月1日	九代目消防長 灘辺正信就任
	4月1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4月13日	福岡県知事が消防通信指令事務の委託に関する規約の制定に伴う届出を受理
	6月27日	査察車購入(スズキ エブリイ)、本部に配備
	7月1日	むなかた・ふくつAEDステーション制度開始
	7月6日	平成29年九州北部豪雨における福岡県消防相互応援協定に基づく派遣消火隊として車両2台、救助艇1艇、職員延べ107人を派遣
	8月21日	宗像地区消防本部屋上防水改修工事
	8月31日	大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書締結
	11月1日	コンビニAEDステーション開始
	11月30日	福岡都市圏消防通信指令業務共同運用開始
	12月6日	消防ポンプ自動車(CAFS)2台購入、本署及び赤間出張所に配備
	12月14日	調査車購入、本署に配備
平成 30 年 (2018)	1月15日	災害時における消防用水の確保に関する覚書締結
	2月6日	指揮自動車購入、本署に配備
	4月1日	十代目消防長 永島英親就任
	4月1日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4月1日	機構改革を実施 1本部2署2出張所1分遣所体制とし、宗像消防署福岡分署を福津消防署に、宗像消防署神湊出張所を福津消防署津屋崎・玄海出張所に改める

	5月	21日	七代目組合長 原崎智仁氏就任
	7月	27日	平成30年7月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として広島県広島市へ消防車1台6人出動
平成 31年 (2019)	11月	5日	乗用車(日産 セレナ)購入、本部に配備
	1月	25日	指令車購入、福津消防署に配備
	1月	31日	宗像地区ファーストレスポnder制度開始
	2月	18日	救助工作車購入、宗像消防署に配備
	3月	18日	高規格救急自動車購入、赤間出張所に配備
令和 元年 (2019)	3月	29日	本部敷地内に車庫1棟増築
	4月	1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月	5日	全日本不動産協会福岡県本部と「防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定」を締結
		8日	福津消防署等改修工事設計業務委託契約
	11月	12日	大島分遣所改修工事
令和 2年 (2020)	12月	4日	福津消防署増改築改修工事
	12月	24日	公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会と「防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定」を締結
	1月	10日	水槽付消防ポンプ自動車購入 福津消防署に配備
	4月	1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月	21日	八代目組合長 伊豆美沙子氏就任

組合の組織

宗像地区事務組合 組織図

(令和2年5月21日)



議員定数 16人
宗像市 8人
福津市 8人

議長

花田 鷹人 (宗像市議会議長)

副議長

江上 隆行 (福津市議会議長)

組合議員は、関係市の議会において、当該議会の議員のうちから選挙する。

議長及び副議長は、組合議員の互選により定める。

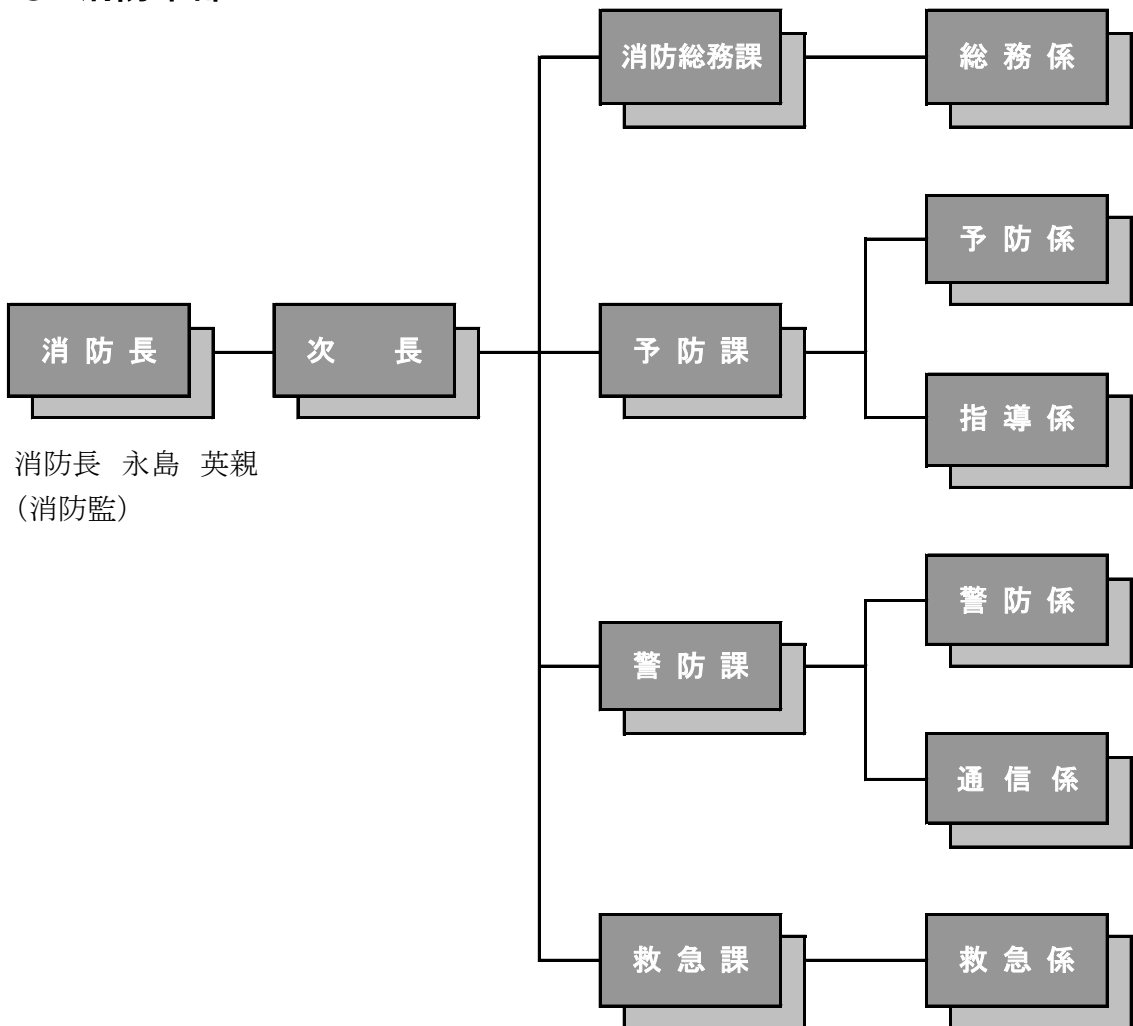
議員	吉田 剛 (宗像市)	議員	石松 和敏 (宗像市)
議員	田中 純子 (福津市)	議員	横山 良雄 (福津市)
議員	森田 卓也 (宗像市)	議員	末吉 孝 (宗像市)
議員	高山 賢二 (福津市)	議員	戸田 進一 (福津市)
議員	北崎 正則 (宗像市)	議員	植木 隆信 (宗像市)
議員	中村 清隆 (福津市)	議員	米山 信 (福津市)
議員	福田 昭彦 (宗像市)	議員	江上 隆行 (福津市)
議員	蒲生 守 (福津市)	議員	花田 鷹人 (宗像市)

消防本部・消防署の組織

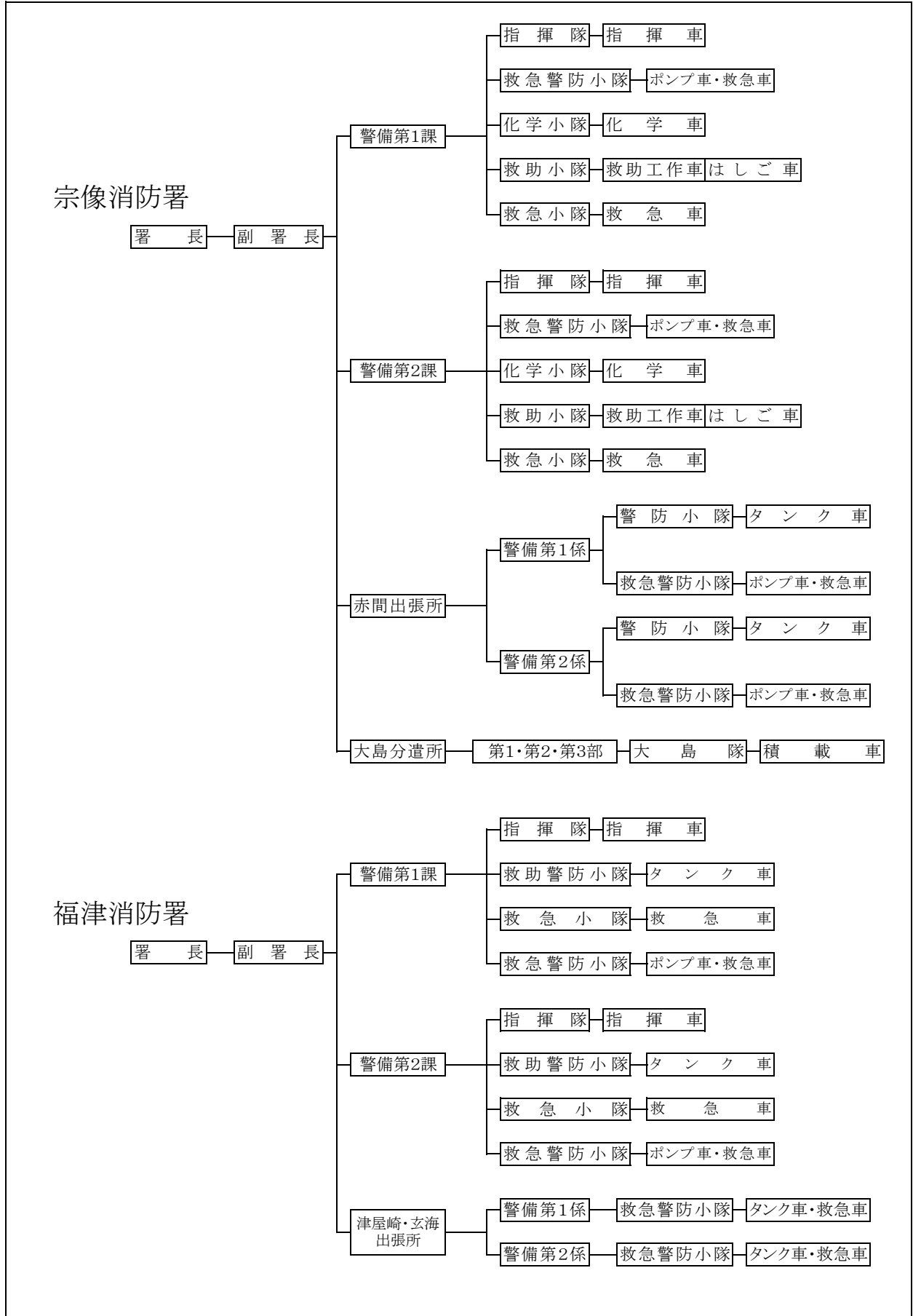
○ 歴代消防長

歴代	氏名	在任期間
初代	宗 實	S 49. 6. 1 ~ S 56. 12. 31
二代	山内 伸夫	S 57. 2. 15 ~ S 60. 3. 31
三代	坂本 守正	S 60. 4. 1 ~ H 6. 3. 31
四代	多賀 富男	H 6. 4. 1 ~ H 12. 3. 31
五代	吉武 秋生	H 12. 4. 1 ~ H 15. 3. 31
六代	木村 幸雄	H 15. 10. 1 ~ H 21. 3. 31
七代	乙藤 富雄	H 21. 4. 1 ~ H 23. 3. 31
八代	門脇 豊	H 23. 4. 1 ~ H 29. 3. 31
九代	灘辺 正信	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31
十代	永島 英親	H 30. 4. 1 ~

○ 消防本部



○消防署



<p>消 防 総 務 課</p>	<p>総 務 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防本部の組織、制度及び職務権限に関する事。 (2) 消防職員の人事に関する事。 (3) 消防職員の給与、勤務時間、休日、休暇、福利厚生及び安全衛生等の労働条件管理に関する事。 (4) 秘書及び渉外に関する事。 (5) 消防事務の企画及び管理に関する事。 (6) 消防職員の教育訓練、研修及び監察に関する事。 (7) 公文書及び公印の管理に関する事。 (8) 消防史及び記録統計の編さんに関する事。 (9) 儀式及び交際に関する事。 (10) 消防年報の作成に関する事。 (11) 消防力の整備に関する事。 (12) 消防職員の任免、分限、服務、賞罰その他身分に関する事。 (13) 消防職員委員会に関する事。 (14) 消防機械器具及び消防施設の取得、管理及び処分に関する事。 (15) 消防長会に関する事(他の課の所管に係るものを除く)。 (16) 本部内の他の課の主管に属しない事。
<p>予 防 課</p>	<p>予 防 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 危険物の規制に関する事。 (2) 危険物施設等の査察計画及び実施に関する事。 (3) 危険物施設の違反処理に関する事。 (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)第36条第1項各号に規定する設置の許可又は第37条の2第1項に規定する変更の許可の意見書交付に関する事。 (5) 予防運動の計画及び調整に関する事。 (6) 防災協会の育成指導に関する事。 (7) その他危険物等の火災予防に関する事。 (8) その他予防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関する事。
<p>指 導 係</p>	<p>指 導 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 建築同意事務に関する事。 (2) 防火管理者に関する事。 (3) 防火思想の普及宣伝に関する事。 (4) 防火対象物等の査察計画及び実施に関する事。 (5) 防火対象物の違反処理に関する事。 (6) 消防用設備等の指導に関する事。 (7) 旅館、ホテルの意見書の交付に関する事。 (8) 防災処理の指導に関する事。 (9) 消防設備士会の育成指導に関する事。 (10) その他火災予防に関する事。

警 防 課	警 防 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防機械器具の整備及び管理に関すること。 (2) 車両等の燃料管理に関すること。 (3) 宗像地区連絡協議会に関すること。 (4) 消防相互応援に関すること。 (5) 緊急消防援助隊に関すること。 (6) 国民保護法に関すること。 (7) 各種訓練に関すること。 (8) その他警防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
	通 信 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防通信の業務に関すること。 (2) 消防通信施設の整備、保守管理及び計画に関すること。 (3) 気象観測及び記録に関すること。 (4) 通信統計及び通信情報に関すること。 (5) 火災警報に関すること。 (6) 庁内電話交換に関すること。 (7) 救急応需情報に関すること。 (8) 共同指令センターの運営に関すること。 (9) 消防情報支援システムの管理運営及びデータ管理に関すること。 (10) 福岡県防災・行政情報通信ネットワークに関すること。 (11) 緊急通報システムに関すること。 (12) 火災・災害等速報に関すること。 (13) その他通信業務に関すること。
	救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急隊及び配置に関すること。 (2) 救急資器材の整備及び管理に関すること。 (3) 救急に関する行事の企画に関すること。 (4) 応急手当等の普及啓発に関すること。 (5) 患者等搬送事業者に対する指導及び認定に関すること。 (6) 救急病院等医療関係機関との連絡調整に関すること。 (7) 救急統計に関すること。 (8) メディカルコントロールに関すること。 (9) その他救急業務に関すること。

消防署の事務分掌

消 防 署	全 般	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防署の庶務に関すること。 (2) 文書收受及び整理保存に関すること。 (3) 公印の管理に関すること。 (4) 職員の勤務及び教養に関すること。 (5) 警備隊の配置及び運用に関すること。 (6) 災害の警戒及び防ぎよに関すること。 (7) 各種訓練に関すること。 (8) 災害、救急の調査及び報告並びに統計に関すること。 (9) 火災その他災害の原因及び損害の調査に関すること。 (10) 自主防災組織に関すること。 (11) 各種諸証明に関すること。 (12) 各種届出の処理に関すること。 (13) 備品の使用管理に関すること。 (14) 施設の整備保全及び運用に関すること。 (15) 消防署内事務の連絡調整に関すること。
	予 防 関 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防法(昭和23年法律第186号)第10条に規定される危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。 (2) 危険物製造所等の完成検査、廃止、保安監督者選任(解任)届出、予防規程制定(変更)認可申請及び危険物変更届出に関すること。 (3) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 (4) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関すること。 (5) 危険物施設等及び防火対象物等の査察の実施に関すること。 (6) 建築物、工作物等の火災及び人命危険の予防措置に関すること。 (7) 防火管理者及び防災管理者に関すること。 (8) 防火思想の普及宣伝に関すること。 (9) 自衛消防隊の育成指導に関すること。 (10) 危険物施設等及び防火対象物等の違反処理に関すること。 (11) 消防用設備等の指導に関すること。 (12) 催物その他各種届出に関すること。 (13) 防災処理の指導に関すること。

消 防 署	警 防 関 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救助業務及び潜水業務の実施に関する事。 (2) 消防水利の計画、調査及び保全に関する事。 (3) 機関員等の技術管理に関する事。 (4) 消防の警備計画に関する事。 (5) 消防団に関する事。
	救 急 関 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務の計画及び実施に関する事。 (2) 応急手当等の普及啓発の実施に関する事。

協定名	締結年月日	協定市町村等	応援の内容
宗像市・福津市と隣接する市外町との消防相互応援協定	昭和52年10月1日	宗像市、福津市、岡垣町、宮若市、鞍手町	水火災その他の災害
福岡都市圏市町消防相互応援協定	昭和55年3月1日	福岡都市圏内の市町等 9市、8町 5消防組合	火災、救急救助事案その他の災害
遠賀・中間地域広域行政事務組合、直方鞍手広域市町村圏事務組合、宗像地区事務組合常備消防相互応援協定	平成19年4月1日	遠賀・中間地域広域行政事務組合 直方鞍手広域市町村圏事務組合 宗像地区事務組合	火災又は地震等の災害
福岡県消防相互応援協定	平成元年3月25日	福岡県内の全市町村等 60市町村 13消防組合	大規模災害等
高速自動車道における消防相互応援協定	昭和61年10月15日	福岡県内インター所在7市1町10消防組合	全ての災害

消防本部の管轄地域

福岡県



- | | | | | |
|---------|--------|-----------|-------------|---------|
| 1 北九州市 | 6 筑後市 | 11 糸島市 | 16 春日大野城那珂川 | 21 粕屋南部 |
| 2 福岡市 | 7 行橋市 | 12 八女 | 17 田川地区 | 22 宗像地区 |
| 3 大牟田市 | 8 中間市 | 13 筑紫野太宰府 | 18 京築広域 | 23 粕屋北部 |
| 4 久留米広域 | 9 苅田町 | 14 飯塚地区 | 19 直方鞍手広域 | 24 遠賀 |
| 5 直方市 | 10 柳川市 | 15 みやま市 | 20 甘木・朝倉 | |

消防本部の主なできごと

PLAY BACK

平成31年 4月	10日	第42回福岡県消防職員意見発表会(田川郡) 宗像地区消防本部を代表して「小田 彦輝」消防士が出席。
	4日	消防吏員7人採用。 (4月4日から9月19日までの間、消防職員初任教育前期に入校)
	23～25日	署内事務監査 消防本部、各署所の事務監査を実施。
令和元年 5月	24日	第1回危険物試験準備講習
6月		<u>危険物安全週間(6月2日～8日)</u> 危険物安全週間は、平成2年消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週(日曜日から土曜日までの1週間)に各種事業が実施。
	9日	消防団・消防署合同水防訓練 福津市日蔭野「集いの駅」で福津市と合同の水害対応訓練を実施。
	9日	宗像市水害対応訓練 宗像市野坂「南郷地区コミュニティセンター」で宗像市の水害対応訓練に参加
	25・26日	第1回防火管理者新規講習会 学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。
7月	1日	広報紙「宗像地区事務組合だより」7月号発行～通巻38号
	23日	インターンシップ(就業体験) 高校生4人を受け入れ就業体験を実施。
	29日	夏の課外授業inむなかた 「めざせ未来の消防士」を実施。18組48人が参加。
9月		<u>防災の日(9月1日)</u>
	14日	宗像市総合防災訓練実施(河東地区) <u>救急の日(9月9日)</u>
	9日～13日	中学生職場体験学習 管内3校の中学生24人を受け入れ、職場体験学習を実施。
10月	7日	人命救助表彰(3人)
	20日	宗像地区消防本部消防吏員採用試験
	30・31日	第2回防火管理者新規講習会 学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。
17・21・23・30日		署内事務監査

11月	
1日	<p>広報紙「宗像地区事務組合だより」11月号発行～通巻39号</p> <p><u>119番の日(11月9日)</u></p> <p><u>秋季火災予防運動(9日～15日)</u></p>
9日	<p>防火パレード(宗像地区消防本部・消防団)</p> <p>「火の用心」の“のぼり”を掲げた消防車両で管内を防火パレードし、防火を呼びかけた。</p>
9日	<p>福津市一斉防災訓練(福津市全域)</p>
10日	<p>第43回消防ママさんバレーボール大会</p> <p>管内の18チーム225人の選手の参加により、熱戦が繰り広げられ、後日、防火教室と防災講習会を実施。</p>
17日	<p>宗像市消防団ブラインド訓練</p> <p>宗像市アスティで宗像市消防団と建物火災を想定したブラインド訓練を実施</p>
12月	
20日	<p>防災活動支援協力功労表彰(イオンモール福津)</p>
25～1月5日	<p>年末年始特別警戒</p>
令和2年	
1月	
6日	<p>署内意見発表会</p>
13日	<p>令和2年消防出初式(イオンモール福津)</p> <p><u>文化財防火デー(1月26日)</u></p> <p>1949年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上したことに因んで制定された記念日。</p>
23日・24日	<p>文化財防火デーに伴い管内の重要文化財の特別査察を実施。</p>
24日	<p>文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練を実施。(宗像大社)</p> <p>宗像大社自衛消防隊、宗像市消防団及び宗像消防署の計117人が参加し、宗像大社付近一帯で火災防ぎょ訓練を実施。</p>
2月	
3日	<p>防火ポスターコンクール</p> <p>管内の小学4年生を対象に作品を募集。</p> <p>優秀な作品を春季火災予防運動期間中、市内の公共施設などに展示し火災予防をPRした。</p>
8日	<p>女子学生等を対象とした職業説明会参加</p> <p>女子学生向けの消防職業体験イベントにブースエリアとして参加。</p>
12日	<p>甲種防火管理再講習を実施</p> <p>防災設備等の高度化への順応や消防法令の改正の把握など、知識、技能の更新が常に必要であるため、5年ごとに再講習が義務づけられている。</p>
3月	
	<p><u>春季火災予防運動(3月1日～7日)</u></p>
1日	<p>広報紙「宗像地区事務組合だより」3月号発行～通巻40号</p>

職員の階級別定員および実員

(令和2年4月1日現在)

区分	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
定員		1	9	12	129				151
実員		1	9	4	23	48	10	46	141
	(うち女性職員)							4	4

※再任用職員(短時間勤務職員)は含まない。

職員の階級別任用、退職状況

(令和元年度)

区分	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
採用								7	7
昇任			1	3	2	2	2		10
退職								2	2

職員の配置状況

(令和2年4月1日現在)

区分	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防本部	消防長	1							1
	次長		1						1
	消防総務課		1	1	1	2		5	10
	予防課		1	1	1	1	1		5
	警防課		1		1	1			3
	救急課		1		1	1			3
	小計		1	5	2	4	5	1	5
消防署	宗像消防署		2	1	7	21	1	21	53
	赤間出張所				4	6	4	4	18
	大島分遣所				1	1			2
	福津消防署		2	1	6	12	2	14	37
	津屋崎・玄海出張所				1	3	2	2	8
	小計			4	2	19	43	9	41
合計		1	9	4	23	48	10	46	141

職員の階級別年齢

(令和2年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 吏 員							計	(人)			
	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		1	5	10	15
18												
19							3	3	***			
20							2	2	**			
21							5	5	*****			
22							4	4	****			
23							7	7	*****			
24							3	3	***			
25							3	3	***			
26							4	4	****			
27							4	4	****			
28					1		1	2	**			
29					1		3	4	****			
30						1	1	2	**			
31					1		3	4	****			
32					3	1	1	5	*****			
33					3	1	2	6	*****			
34					1			1	*			
35					3	1		4	****			
36					4	2		6	*****			
37					2	2		4	****			
38												
39				1	3			4	****			
40				1	3			4	****			
41				2	1			3	***			
42					1			1	*			
43					4			4	****			
44					1			1	*			
45				2	5			7	*****			
46				6	3			9	*****			
47		1		3	3			7	*****			
48		1	1	1				3	***			
49			1	3	2			6	*****			
50			1		1			2	**			
51				1	1			2	**			
52		1		1				2	**			
53		1		1				2	**			
54		1		1				2	**			
55		2				1		3	***			
56												
57		2			1	1		4	****			
58	1		1					2	**			
59												
60												
計	1	9	4	23	48	10	46			141		
平均 歳月	58.0	53.1	51.3	46.7	40.3	38.8	24.9			37.5		

職員の階級別勤続年数

(令和2年4月1日現在)

階級 年数	階級							計	(人)		
	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士		0	10	20
0							4	4	****		
1							7	7	*****		
2							8	8	*****		
3							6	6	*****		
4							9	9	*****		
5							2	2	**		
6											
7							3	3	***		
8							3	3	***		
9					2		4	6	*****		
10					3	1		4	****		
11					3	1		4	****		
12					2	4		6	*****		
13					3	1		4	****		
14					1	1		2	**		
15					7			7	*****		
16					2			2	**		
17				4	1			5	*****		
18					3			3	***		
19					2			2	**		
20											
21											
22											
23				1	3			4	****		
24				1	2			3	***		
25		1		1	2			4	****		
26				1	6			7	*****		
27				3	1			4	****		
28			1	6	2			9	*****		
29				1	2			3	***		
30		1	2	2				5	*****		
31		2		1		2		5	*****		
32											
33											
34		1		1				2	**		
35											
36		2		1				3	***		
37											
38											
39	1	2	1		1			5	*****		
40											
41											
計	1	9	4	23	48	10	46	141			
平均	39.0	33.4	31.8	26.3	18.9	15.8	3.7	16.3			

職員の資格(講習)取得状況

(令和2年3月31日現在)

種別	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
		福岡県消防学校	特殊災害科	3	1	2		
	予防科(予防査察科)	1	1	3	2			7
	危険物科	2	1	3	1	2		9
	火災調査科		1	4	2			7
	救急科・救急Ⅱ(標準)課程	9	4	21	46	10	27	117
	救助科			3	5	1	1	10
	初級幹部科A	2	1	3	8			14
	初級幹部科B	6	1	4				11
	中級幹部科	2	1					3
	上級幹部科	1						1
	水難救助教育				1	1	3	5
	消防操法指導員研修	5	3	2				10
	はしご自動車等教育	3	4	5	7			19
	警防科	1	1	2				4
	警防実務研修				4	4	2	10
	陸上特殊無線技士Ⅱ・Ⅲ	9	4	17	24	8		62
福岡県市町村	階級別(一般・保長・課長・他修)	8	2	10	10	5	1	36
	選択研修	8	2	10	9	1	1	31
その他	指導救命士	1		2	1			4
	救急救命士	3		6	17	1	11	38
	中型自動車免許			1	13	4	14	32
	大型自動車免許	9	4	15	27	4	4	63
	小型船舶	5	4	12	21	1	4	47
	潜水士	6	3	12	28	2	7	58
	危険物取扱者	2	2	8	20	8	12	52
	衛生管理者	2		1	1			4
	小型移動式クレーン運転技能		1	6	18	5	6	36
	予防技術資格認定者(防火査察)	4	2	10	15	4	3	38
	予防技術資格認定者(消防用設備等)	2	2	9	6	3	1	23
	予防技術資格認定者(危険物)		1	1	3	2	1	8

職員の研修状況

(令和元年度)

種別		階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
		福岡県消防学校	初任教育						
火災調査科					1				1
救急科								6	6
初級幹部科(A)					1				1
初級幹部科(B)				1					1
中級幹部科			1						1
救助科								1	1
特殊災害科					1				1
警防実務研修								1	1
救急救命士養成研修							1		1
救急救命士就業前病院実習								3	3
救急救命士気管挿管病院実習									
救急救命士病院実習(再教育)				6	16	1	7		30
福岡県市町村職員研修所	新任係長研修			1					1
	新任課長研修	1							1
	クレーム対応研修(組織対応)			1					1
	クレーム対応研修(窓口)								
	法制執務基礎研修								
	対人関係能力向上研修								
	リーダーシップ能力向上研修								
消防実務講習会(予防)				1					1
福岡県救急医学会救急隊員部会				3	7	1	4		15
日本救急臨床医学会						1			1
消防職員安全衛生研修会				1					1

消防大学校の教育状況

令和2年3月31日現在

種 別		階 級	消	消	消	消	消	消	計		
			防	防	防	防	防	防			
			防	司	司	司	士	副	士		
			監	令	令	令	長	士	長		
令和元年度	上 級 幹 部 科		1							1	
	火 災 調 査 科					1				1	
累 計	総合教育	上 級 幹 部 科	1							1	
		幹 部 科	1	2	1					4	
	専科教育	警 防 科		1	1	1				3	
		予 防 科		1						1	
		救 急 科									
		救 助 科									
		火 災 調 査 科		2	1	1				4	
	計	火 災 調 査 講 習 会									
		はしご自動車等講習会			3						3
		違反是正講習会									
合 計			2	9	3	2				16	

職員の表彰受賞状況

令和2年3月31日現在

区 分		階 級	消	消	消	消	消	消	計	
			防	防	防	防	防	防		
			防	司	司	司	士	副	士	
			監	令	令	令	長	士	長	
令和元年度	消 防 庁 長 官 功 労 章									
	消 防 庁 長 官 永 年 勤 続 功 労 章									
	全 国 消 防 長 会 永 年 勤 続 表 彰			1	2	2				5
	全 国 消 防 協 会 優 良 消 防 職 員 表 彰									
	福 岡 県 知 事 人 命 救 助 功 労 表 彰									
	福 岡 県 知 事 永 年 勤 続 表 彰					1	6			7
累 計	消 防 庁 長 官 功 労 章									
	消 防 庁 長 官 永 年 勤 続 功 労 章									
	全 国 消 防 長 会 永 年 勤 続 表 彰		1	10	6	18	22	2		59
	全 国 消 防 協 会 優 良 消 防 職 員 表 彰			1						1
	福 岡 県 知 事 人 命 救 助 功 労 表 彰									
	福 岡 県 知 事 永 年 勤 続 表 彰		1	8	4	14	14	2		43
合 計 (延 べ 人 員)			2	19	10	32	36	4		103

訓練・指導等の実施状況

(令和元年度)

市別	種別	救急講習	ポンプ操 法指導	規律・小隊 訓練等指導	防火・避難 訓練指導	署所見学	計
	回数						
合計	回数	122	35	20	314	38	529
	延人数	3,242	277	960	28,710	2,289	35,478

職員の教養実施状況

(令和元年度)

教育科目	教養内容	延時間	受講者階級別延人員				
			消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
実務研修教養	初任教育を修了した職員に対する教養	89				341	341
機関員教養	機関員の教養及び現在の機関員に対する教養	468				103	103
服務教養	現任職員に対するその職務についての教養	599	367	1,589	613	2,292	4,861
合計	計	1,156	367	1,589	613	2,736	5,305

消防力の状況

常備消防の状況

(令和2年4月1日現在)

区 分			車 両 等			人 員			
			算 定 数	現 有 台 数	不 足 数	算 定 数 a	現 有 人 員 b	不足数	充足率 (%)
								対 算 定 a-b	対 算 定 b/a
警 防 要 員	消 防 隊 員	指 揮 車	2	2		18	114	30	79.2
		消 防 ポンプ自動車	6	6		75			
		化 学 消 防 車	1	1		15			
		は し ご 自 動 車	1	1		乗換運用			
		小 型 動 力 ポンプ付 積 載 車	1	1		3			
	救 急 隊 員	救 急 自 動 車	6	6		18			
	救 助 隊 員	救 助 工 作 車	1	1		15			
小 計			18	18		144	114	30	79.2
本 部 要 員	専 任 の 予 防 要 員		/			21	5	※毎日勤務者のみ	
	通 信 員		/			7	2	/	
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員		/			20	20		
小 計			/			48	27		
合 計						192	141	51	73.4

※再任用職員除く

面積・人口および世帯数に対する常備消防力

(令和2年4月1日現在)

区 分	消 防 職 員 一 人 当 たり	消 防 ポ ン プ 自 動 車 一 台 当 たり	救 急 自 動 車 一 台 当 たり
人 口 (163,322人)	1,158 人	23,332 人	27,220 人
世 帯 数 (71,278世帯)	506 世帯	10,183 世帯	11,880 世帯
面 積 (172.7Km ²)	1.22 km ²	24.67 km ²	28.78 km ²

※ 消 防 職 員 141 人
 消 防 ポ ン プ 車 7 台 (化学車含む)
 救 急 車 6 台

消防団の現況

(令和2年4月1日現在)

動 力 消 防 ポ ン プ 算 定 数				動 力 消 防 ポ ン プ 整 備 数	
消 防 ポ ン プ 車 数 (台)		手 引 ・ 小 型 動 力 ポ ン プ 数 (口)		消 防 ポ ン プ 車 数 (台)	
				手 引 ・ 小 型 動 力 ポ ン プ 数 (口)	
国	市 町 村	国	市 町 村		
5	28	12	35	28	
				14	

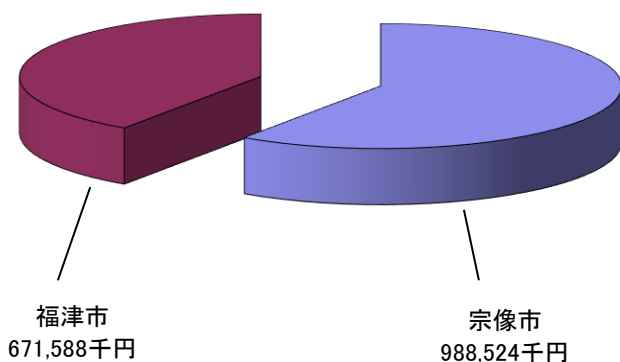
財政の状況

令和元年度決算(見込み)における構成市消防負担金 (単位：千円)
1,660,112千円

(構成市の負担金)

地方交付税法により算定される構成市の当該年度の基準財政需要額のうち消防費の算定方法に準じて算定した額で、常備消防費に相当する額

宗像市 59.5%
福津市 40.5%



過去3年間における消防負担金状況

(単位：千円)

		29年度決算	30年度決算	令和元年度決算(見込み)
消防費基準財政需要額(A)		2,003,389	1,992,213	1,976,369
消防負担金	宗像市	832,927	890,697	988,524
	福津市	578,696	611,927	671,588
	合計(B)	1,411,623	1,502,624	1,660,112
消防費基準財政需要額に占める消防負担金割合(B/A)		70.5%	75.4%	84.0%

※(参考) 単位費用 11,300円 11,300円 11,300円

令和2年度宗像地区事務組合一般会計当初予算

歳入

(単位：千円)

款	項	当初予算額
1. 分担金及び負担金	1. 負担金	1,904,737
	内 消防負担金	1,723,722
2. 使用料及び手数料	1. 使用料	1,700
	2. 手数料	502
3. 国庫支出金	1. 国庫補助	1
4. 財産収入	1. 財産運用収入	2
5. 繰越金	1. 繰越金	35,500
6. 諸収入	1. 預金利子	1
	2. 雑入	23,785
7. 組合債	1. 組合債	123,000
歳入合計		2,089,228

歳出

(単位：千円)

款	項	当初予算額
1. 議会費	1. 議会費	1,828
2. 総務費	1. 総務管理費	41,137
	2. 監査委員費	492
3. 衛生費	1. 保健衛生費	15,850
	2. 清掃費	136,861
4. 消防費	1. 消防費	1,625,612
5. 公債費	1. 公債費	260,648
6. 予備費	1. 予備費	6,800
歳出合計		2,089,228

平成30年度消防費決算額と一般会計決算額との比較

(単位：千円)

	一般会計決算額	消防費決算額	比較 消防費／一般
宗像市	37,129,897	1,086,273	2.9%
福津市	25,816,499	829,009	3.2%
合計	62,946,396	1,915,282	3.0%

平成30年度消防費決算と消防費基準財政需要額

(単位：千円)

区分 市別	消防費基準 財政需要額 (調整後) (A)	決算額			基準財政需要額に 占める決算額の割合 (B/A)
		常備消防費 負担金	非常 消防 費	計(B)	
宗像市	1,180,907	890,697	195,576	1,086,273	92.0%
福津市	811,306	611,927	217,082	829,009	102.2%
合計	1,992,213	1,502,624	412,658	1,915,282	96.1%

※ 基準財政需要額＝消防単位費用 × 測定単位(人口) × 補正係数

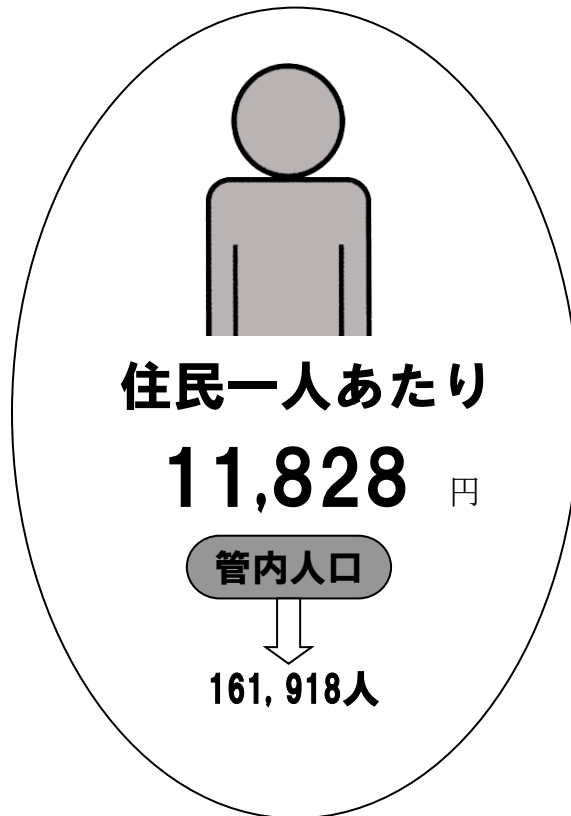
人口一人当たりの消防費 11,828 円

一世帯当たりの消防費 27,358 円

※ 人口 161,918 人

世帯数 70,007 世帯

(平成31年3月31日現在)



防火対象物の現状

(令和2年3月31日現在)

用途		市 別	宗 像 市	福 津 市	計
(1)	イ 劇場・映画館等		1	1	2
	ロ 公会堂・集会場等		81	56	137
(2)	イ キャバレー・カフェー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール等		5	1	6
	ハ 性風俗関連店舗等				
	ニ カラオケボックス等		1		1
(3)	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店等		60	32	92
(4)	百貨店・マーケット等		103	73	176
(5)	イ 旅館・ホテル等		44	6	50
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		825	485	1,310
(6)	イ 病院・診療所等		65	47	112
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等		38	25	63
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等		63	44	107
	ニ 幼稚園・特別支援学校		8	9	17
(7)	小学校・中学校等		94	39	133
(8)	図書館・博物館等		4	2	6
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等		1		1
	ロ イ以外の公衆浴場等				
(10)	車両の停車場等		3	2	5
(11)	神社・寺院等		81	36	117
(12)	イ 工場・作業場等		158	97	255
	ロ 映画・テレビスタジオ等				
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		22	14	36
	ロ 飛行機等の格納庫		1		1
(14)	倉庫		135	95	230
(15)	前各項以外の事業場		332	186	518
(16)	イ 複合用途対象物(特定)		222	147	369
	ロ イ以外の複合用途(非特定)		124	99	223
(16の2)	地下街				
(16の3)	準地下街				
(17)	重要文化財等		3		3
(18)	50m以上のアーケード				
(19)	指定山林				
(20)	総務省令で定める舟車				
合 計			2,474	1,496	3,970

消防用設備等の設置状況

(令和2年3月31日現在)

消防用設備等 用途		消 火 設 備				警 報 設 備			避難設備		連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備
		屋 内 消 火 栓 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯		
(1)	イ 劇場・映画館等					1		2		1		
	ロ 公会堂・集会場等	8		1	1	37	2	32	10	49		
(2)	イ キャバレー・カフェー等											
	ロ 遊技場・ダンスホール等	1		1	1	6		4	1	6	1	
	ハ 性風俗関連店舗等											
	ニ カラオケボックス等					1			1	1		
(3)	イ 待合・料理店等											
	ロ 飲食店等	1				27	4	37	9	52		
(4)	百貨店・マーケット等	22	1	11	9	95		35	4	106		
(5)	イ 旅館・ホテル等	7		1		47	10	8	19	45	2	1
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	37		17	23	270	19	98	187	29	121	49
(6)	イ 病院・診療所等	8		19	2	65	5	15	17	95	1	
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等			66		66	1	5	20	61	1	
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	11		2	2	78	1	8	19	60		
	ニ 幼稚園・特別支援学校					15	2	3	4	10		
(7)	小学校・中学校等	84				123		42	13	14	1	
(8)	図書館・博物館等	2			1	4		1		2		
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1				1		1		1		
	ロ イ以外の公衆浴場等											
(10)	車両の停車場等					3						
(11)	神社・寺院等	2				8	4	21	2	5		
(12)	イ 工場・作業場等	18	2		4	79		1	2	11	1	
	ロ 映画・テレビスタジオ等											
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場				8	7				3		
	ロ 飛行機等の格納庫				1	1				1		
(14)	倉庫	9				46				3		
(15)	前各項以外の事業場	21			3	71	2	61	8	42	1	
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	7		25	8	137	2	54	32	130	8	1
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	1			3	25		23	7	17	4	
(16の2)	地下街											
(16の3)	準地下街											
(17)	重要文化財等					3						
合 計		240	3	143	66	1,216	52	451	355	744	141	51

防火管理者を必要とする事業所の状況

(令和2年3月31日現在)

用途		市 別		宗 像 市		福 津 市		計	
		甲	乙	甲	乙	甲	乙		
(1)	イ 劇場・映画館等								
	ロ 公会堂・集会場等	24	55	17	36	41	91		
(2)	イ キャバレー・カフェー等								
	ロ 遊技場・ダンスホール等	5		1		6			
	ハ 性風俗関連店舗等								
	ニ カラオケボックス等	1				1			
(3)	イ 待合・料理店等								
	ロ 飲食店等	19	31	8	16	27	47		
(4)	百貨店・マーケット等	55	9	32	7	87	16		
(5)	イ 旅館・ホテル等	19	1	6		25	1		
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	156		97		253			
(6)	イ 病院・診療所等	16		13		29			
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	29		24		53			
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	30	2	23	7	53	9		
	ニ 幼稚園・特別支援学校	5		4		9			
(7)	小学校・中学校等	24		13		37			
(8)	図書館・博物館等	1		1		2			
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1				1			
	ロ イ以外の公衆浴場等								
(10)	車両の停車場等								
(11)	神社・寺院等	15	2	8	4	23	6		
(12)	イ 工場・作業場等	10		4		14			
	ロ 映画・テレビスタジオ等								
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場								
	ロ 飛行機等の格納庫								
(14)	倉庫	2		1		3			
(15)	前各項以外の事業場	32	18	17	16	49	34		
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	111	21	63	12	174	33		
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	21	4	17		38	4		
合 計		576	143	349	98	925	241		

防火対象物の予防査察状況

(令和元年度)

市 別		査 察 対 象 物 数	査 察 数		
			宗 像 市	福 津 市	計
用 途					
(1)	イ 劇場・映画館等		1		1
	ロ 公会堂・集会場等	17	11	2	13
(2)	イ キャバレー・カフェー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール等	4	1	1	2
	ハ 性風俗関連店舗等				
(3)	ニ カラオケボックス等				
	イ 待合・料理店等				
(4)	ロ 飲食店等		2		2
	百貨店・マーケット等	53	16	10	26
(5)	イ 旅館・ホテル等	52	37	6	43
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		1		1
(6)	イ 病院・診療所等	24	15	14	29
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	60	33	24	57
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	41	9	12	21
	ニ 幼稚園・特別支援学校	7	3	1	4
(7)	小学校・中学校等	2	2	1	3
(8)	図書館・博物館等		2	1	3
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1			
	ロ イ以外の公衆浴場等				
(10)	車両の停車場等				
(11)	神社・寺院等	1	4		4
(12)	イ 工場・作業場等	1			
	ロ 映画・テレビスタジオ等				
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		2	1	3
	ロ 飛行機等の格納庫				
(14)	倉庫	2	2	3	5
(15)	前各項以外の事業場		11	2	13
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	71	35	17	52
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	2	1	1	2
(16の2)	地下街				
(16の3)	準地下街				
(17)	重要文化財等	2	3		3
合 計		340	191	96	287

建築同意事務処理状況

(令和元年度)

用途		市 別		計
		宗 像 市	福 津 市	
(1)	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂・集会場等	3	2	5
(2)	イ キャバレー・カフェー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール等			
	ハ 性風俗関連店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
(3)	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店等		9	9
(4)	百貨店・マーケット等	9	1	10
(5)	イ 旅館・ホテル等	1		1
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	17	11	28
(6)	イ 病院・診療所等	2	1	3
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	2	1	3
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	4	5	9
	ニ 幼稚園・特別支援学校		1	1
(7)	小学校・中学校等	2	7	9
(8)	図書館・博物館等			
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ イ以外の公衆浴場等			
(10)	車両の停車場等	1		1
(11)	神社・寺院等	4	1	5
(12)	イ 工場・作業場等	6	9	15
	ロ 映画・テレビスタジオ等			
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場	1		1
	ロ 飛行機等の格納庫			
(14)	倉庫	2	1	3
(15)	前各項以外の事業場	7	15	22
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	2	1	3
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	2		2
(16の2)	地下街			
(16の3)	準地下街			
(17)	重要文化財等			
	令 別 表 外	50	55	105
合 計		115	120	235

中高層建築物（5階以上）の現状

（令和2年3月31日現在）

市別	階別	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
宗像市		96	31	25	15	7	8	9	4	5	6	2	208
福津市		27	9	9	5	4	11	9	11	1	3	1	90
合計		123	40	34	20	11	19	18	15	6	9	3	298

用途	階別	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
(1)	イ 劇場・映画館等												
	ロ 公会堂・集会場等	1											1
(2)	イ キャバレー等												
	ロ 遊技場等			1									1
	ハ 性風俗関連店舗等												
(3)	イ 待合・料理店等												
	ロ 飲食店等												
(4)	百貨店・店舗等	1											1
(5)	イ 旅館・ホテル等	2	1				1			1			5
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	106	22	23	14	9	15	17	15	5	8	3	237
(6)	イ 病院・診療所等	1	1										2
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等		1			1							2
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等		1										1
	ニ 幼稚園・特別支援学校												
(7)	小学校・中学校等	2											2
(8)	図書館・博物館等												
(9)	イ 蒸気・熱気浴場等												
	ロ イ以外の公衆浴場等												
(10)	車両の停車場等												
(11)	神社・寺院等												
(12)	イ 工場・作業場等	1											1
	ロ 映画・スタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場												
	ロ 飛行機等の格納庫												
(14)	倉庫												
(15)	前各項以外の事業場	1		1	1								3
(16)	イ 複合用途対象物	4	12	3	5		1	1					26
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	4	2	6		1	2				1		16
(17)	重要文化財等												
合計		123	40	34	20	11	19	18	15	6	9	3	298

工事整備対象設備等着工届事務処理状況

(令和元年度)

区 分	市 別	宗 像 市	福 津 市	計
屋内消火栓設備		5	3	8
スプリンクラー設備		4	1	5
泡消火設備				
粉末消火設備		2		2
屋外消火栓設備				
自動火災報知設備		38	20	58
消防機関へ通報する火災報知設備		4	5	9
避難器具		4	3	7
パッケージ型消火設備		1	2	3
合 計		58	34	92

法令に基づく届出処理状況

(令和元年度)

区 分	市 別	宗 像 市	福 津 市	計
防火管理者選任・解任届出		175	173	348
消防計画の届出		192	176	368
防火対象物使用開始届出		91	74	165
変電設備設置届出		25	10	35
発電設備設置届出				
蓄電池設備設置届出		3	1	4
ネオン管設備設置届出				
催物開催届出			3	3
ボイラー設置届出		6	2	8
圧縮アセチレン等の貯蔵又は取扱いの開始届出		25	10	35
少量危険物設置届出		9	11	20
水素ガスを充てんする気球設置届出				
合 計		526	460	986

危険物施設の現況

(令和2年3月31日現在)

製造所等の区分		市別		計
		宗像市	福津市	
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所	7	3	10
	危険物屋外貯蔵所	2	2	4
	危険物屋内タンク貯蔵所	2	2	4
	危険物屋外タンク貯蔵所	11	3	14
	危険物地下タンク貯蔵所	28	20	48
	危険物簡易タンク貯蔵所			
	危険物移動タンク貯蔵所	18	2	20
取扱所	危険物給油取扱所	37	15	52
	危険物一般取扱所	11	6	17
	危険物販売取扱所	1		1
合計		117	53	170

危険物施設立入検査実施状況

(令和元年度)

製造所等の区分		市別		計
		宗像市	福津市	
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所	3	3	6
	危険物屋外貯蔵所	1	2	3
	危険物屋内タンク貯蔵所		1	1
	危険物屋外タンク貯蔵所	4		4
	危険物地下タンク貯蔵所	16	14	30
	危険物簡易タンク貯蔵所			
	危険物移動タンク貯蔵所	16	1	17
取扱所	危険物給油取扱所	30	10	40
	危険物一般取扱所	7	3	10
	危険物販売取扱所	1		1
合計		78	34	112

危険物規制事務処理状況

(令和元年度)

事務別		市 別		計	
		宗 像 市	福 津 市		
許 可 ・ 認 可	小 計		19	28	47
	設 置	許 可	2		2
		完 成	2		2
	変 更	許 可	4	10	14
		完 成	4	10	14
	仮 使 用		4	6	10
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱			2	2
	予 防 規 程		3		3
	前 完 成 検 査 検 査	水 張			
		水 圧			
届 出	小 計		37	19	56
	変 更		14	8	22
	種 類 数 量 変 更			1	1
	譲 渡 ・ 引 渡		1		1
	廃 止		3	2	5
	使 用 休 止 再 開				
	保 安 監 督 者 選 解 任		17	6	23
	事 故 発 生		2	2	4
	許 可 証 等 再 交 付				
	申 請 取 り 下 げ				

宗像地区防災協会

防災体制の強化推進及び会員相互の融和と協調をはかり、災害の防止に努め、もって事業所の健全な発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

令和元年度 会長 葦津 幹之
 副会長 原口 幸聖
 副会長 手島 弘貴
 副会長 吉武 大作
 会員数140事業所
 (令和2年3月31日現在)

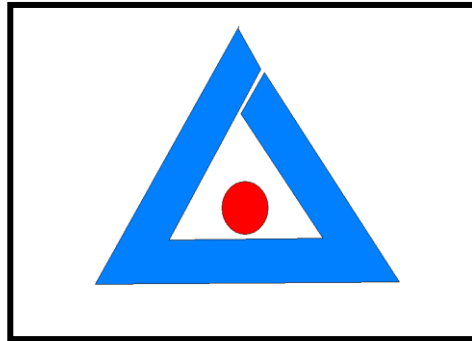
防災協会の組織

宿泊施設部会

塗料販売部会

LPガス販売部会

石油販売部会



赤い円は、太陽・火災等を意味し、災害を防ぐように「ム」の字が回りを囲んでいる。
 また、円を中心よりわずか下方へずらすことによって人の頭を意味し「ム」は災害をシャットアウトしようとする「手」を意味する。

工場部会

病院等部会

大型店舗部会

事業所部会

特別会員部会



危険物取扱者試験
受験準備講習会



第1回会員研修会
(消火器取扱訓練)

防災協会の主な活動

- 危険物取扱者試験受験準備講習会 (5月、9月、1月)
- 会員研修会(5月、11月)
- 定例総会(6月)
- 会報「防災むなかた」発刊(8月、1月)
- 火災予防運動期間中の火災予防啓発活動
防火横断幕の掲示、防火チラシ配布 (11月)
- 幼年消防クラブへの防火ハッピー贈呈(3月)



第2回会員研修会
(応急手当訓練)



火災予防啓発活動

6月



定例総会

宗像地区幼少年婦人防火委員会

防災防火意識の高揚を図り、防火知識の普及に努めるため、民間の防火組織として地域に密着した幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ、あるいは地域の自主防災組織の運営指導について、研究及び助言するとともにクラブの健全な育成発展に寄与することを目的とする。

幼 年 消 防 ク ラ ブ

幼稚園、保育園の園児で結成され、正しい火の取り扱い方などについて、園独自の指導計画を立て、自主的に活動するとともに防災行事に積極的に参加しています。

少 年 消 防 ク ラ ブ

少年のころから学校や家庭における火災予防に関する知識を身につけさせるために結成され、防火夜回り等の防災行事に積極的に参加し、活発な活動を行っています。



少年消防クラブ員章

婦 人 防 火 ク ラ ブ

防災は「わが家から」を合言葉に、家庭の主婦で結成され、防火教室や救命講習会を開催し、家庭や地域の災害予防に積極的に活躍しています。

11月



第43回消防ママさんバレーボール大会



少年消防クラブ防火教室

11月

令和元年度の主な行事

- 第43回消防ママさんバレーボール大会(11月)福津市女性防火クラブ
- 少年消防クラブ防火夜回り(11月) 役員研修会
- 少年消防クラブ防火書道
- 幼年消防クラブ出初式参画(1月)
- 福津市女性防火クラブ役員研修会「防災講話」(2月)

2月



幼年消防クラブ出初式参画



1月



少年消防クラブ防火書道

防火団体構成表

(令和2年4月1日現在)

区分	市別	名称	設立年月日	クラブ員数
婦人	宗像地区	宗像地区婦人防火クラブ	S63.11.27	207
	福津市	福津市女性防火クラブ	H19. 5. 1	102
	小計			309
少年	宗像地区	岬地区少年消防クラブ	S59. 4.22	38
	小計			38
幼年	宗像市	博多のびっこ幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	294
		日の里幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.20	210
		赤間くるみ幼稚園幼年消防クラブ	S61.10.30	240
		浄徳寺幼稚園幼年消防クラブ	S63.10. 1	273
		東海大学付属自由ヶ丘幼稚園幼年消防クラブ	S63.10. 1	219
	福津市	白菊幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	376
		聖愛幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	206
		光明幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	168
		神興幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.21	74
		若木台幼稚園幼年消防クラブ	S61.11.12	228
		孝明保育園幼年消防クラブ	H 2. 1.10	40
		津屋崎保育園幼年消防クラブ	H 2. 1.11	140
		大和保育所幼年消防クラブ	H 2. 2. 5	143
		真愛保育園幼年消防クラブ	H 2. 6. 1	105
		双葉保育所幼年消防クラブ	H25. 4. 1	139
		ひがしふくま真愛保育園幼年消防クラブ	H 3. 9.20	99
		いろどり真愛保育園幼年消防クラブ	H23. 4. 1	161
		こうみょうの丘幼年消防クラブ	H28. 4. 1	138
		いくみ保育園幼年消防クラブ	H30.12.26	171
		小計		
合計			3,771	

現有車両の諸性能

(令和2年4月1日現在)

区分 車名	車種	型式	ポンプ形式	級式	無線局	登録年月日	備考
タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野 2KG-GX2ABA	モリタ MZI	A2	有	R.1.12.12	圧縮空気泡消火装置搭載型 4WD 水1,400ℓ(Ⅰ-A型) 【緊援隊登録】
ポンプ2	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	日本機械 R-3	A2	有	H14.1.25	(CD-Ⅰ型)
タンク3	水槽付消防ポンプ自動車(非常用)	日野 KC-FD1JGBA	日本機械 R-3	A2	有	H9.10.28	水 1,300ℓ(Ⅱ型) 旧化学車
ポンプ4	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク5	水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	日本機械 R-3	A2	有	H23.2.22	水 2,000ℓ(Ⅱ型)
ポンプ6	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク7	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ PB-FRS35G3J 改	モリタ ME-5	A2	有	H18.12.13	4WD 水 1,500ℓ(Ⅰ-A型) 【緊援隊登録】
ポンプ8	小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ EBD-S331W	トーハツ VF53AS	B3	有	H26.12.22	4WD
タンク9	水槽付消防ポンプ自動車(非常用)	日野 KK-FD1JGDA改	モリタ ME-5	A2	有	H14.12.16	水 1,500ℓ(Ⅰ-A型)
化学1	化学消防ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	モリタ ME-5	A2	有	H28.1.15	水 1,500ℓ 薬液 500ℓ(Ⅱ型)
梯子1	はしご付消防ポンプ自動車	日野 QDG-PR1APEF			有	H28.10.21	30m 屈折梯子付
救助1	救助工作車	日野 2KG-GX2ABA			有	H30.12.26	4WD (Ⅱ型) 【緊援隊登録】
救急1	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H28.3.17	4WD
救急2	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H26.12.10	4WD
救急3	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H31.3.4	4WD 【緊援隊登録】
救急4	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H24.9.21	4WD
救急5	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H26.1.23	4WD
救急6	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H21.12.4	4WD
指令1	指令車	ニッサン DBA-NT32			有	H31.1.17	4WD
指揮1	指揮車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H30.2.2	ストレッチャー式指揮機 4WD
乗用車	乗用車	ニッサン DAA-HC27			無	H30.10.23	
査察車	査察車	スズキ HBD-DA17V			無	H29.6.23	4WD
輸送1	人員輸送車	トヨタ SDG-XZB50			有	H25.2.21	乗車定員29人 【緊援隊登録】
支援1	支援車	ニッサン DBA-NT31			有	H26.2.24	4WD
支援2	支援車	トヨタ CBF-TRH200V			無	H29.12.5	
搬送1	資機材搬送車	トヨタ KK-XZU362			有	H15.8.29	4WD
事務連絡車1	事務連絡車	ニッサン DBA-Y12			無	H27.8.26	
軽1	事務連絡車	三菱 GD-H42V			無	H11.5.17	

いろいろな消防ポンプ自動車

圧縮空気泡消火装置搭載型 消防ポンプ自動車



圧縮空気を利用し泡を生成する装置及び水600ℓを積載しており、少量の水で効率の良い泡消火を行います。

化学消防ポンプ自動車



主に油脂火災の消火活動を目的にした消防車で、1,500ℓの水と500ℓの泡消火薬剤を積載しています。

はしご付消防ポンプ自動車



主に高所での消防活動を容易にするための車両で、火災時等ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動等を行います。(30m屈折梯子付き)

指揮自動車



ストレッチャー式指揮機、ノートパソコン、プリンターなど、数多くの資機材を積載しており、迅速で効率の良い指揮活動が可能となります。

救 助 工 作 車



火災救急等各種の災害現場で救助活動を目的にした消防車で、空気呼吸器やレスキューカッター・照明装置など各種救助資機材を積載しています。

消防車両等の配置状況

(令和2年4月1日)

区分	本部・署所別	本 部	宗 像 署	赤間出張所	福 津 署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	合計
消 防 ポ ン プ 自 動 車			1	1	1			3
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車			2	1	1	1		5
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車			1					1
は し ご 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車			1					1
救 助 工 作 車			1					1
高 規 格 救 急 自 動 車			2	1	2	1		6
指 令 車					1			1
指 揮 車			1					1
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車							1	1
乗 用 車		1						1
査 察 車		1						1
事 務 連 絡 車		1			1			2
人 員 輸 送 車			1					1
支 援 車			2					2
資 機 材 搬 送 車			1					1
合 計		3	13	3	6	2	1	28

いろいろな救助資機材

空気呼吸器



各種災害現場で、煙、有毒ガス、酸素欠乏環境から消防隊員を保護する「空気呼吸器」は、消防活動に欠かすことのできない重要な資機材です。

大型油圧式救助器具



バッテリー式の電動油圧救助器具で、持ち上げ、広げ、押さえつけ、引っ張り、締めつけ、切断の操作ができ、交通事故などの人命救助活動に使用します。

マット型空気ジャッキ



空気ポンプ、ホース、マット等を用いて、重量物の持ち上げや変形したドアの開放などに使用します。

エンジンカッター



ガソリン駆動式のパワーカッターで、ブレードを交換することにより、鉄、木材、ガラス等、多様な素材を素早く切断することができる万能型器具です。

ドローン(無人航空機)



災害現場において、迅速で広範囲な情報収集を行うことができ、特に隊員の進入が困難な場所で効果を発揮します。

携帯型CAFS消火システム



CAFS(圧縮空気泡)機能及びミスト噴霧消火機能を備えた携帯型の消火装置で、様々な種類の火災に対応しており、火災を初期の段階で一気に制圧します。

救助資機材の配置状況

(令和2年4月1日現在)

区分	署所別	署所別					合計
		宗像署	赤間出張所	福津署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	
一般救助器具	三連はしご	4		1	1		6
	救命索発射銃	1					1
重量物排除用器具	可搬ウインチ	2		1			3
	マット型空気ジャッキ	1		1			2
	大型油圧スプレッダー	1		1			2
切断用器具	エンジンカッター	3		2			5
	酸素溶断機	1					1
	チェーンソー	6	1	3	1	1	12
	空気鋸(電池式含む)	1		1			2
	大型油圧切断機	1		1			2
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	2	1	1	1	1	6
	有毒ガス測定器	1					1
	放射線測定器	4					4
呼吸保護用器具	空気呼吸器	21	5	7	3	1	37
	送排風機	1					1
破壊用器具	削岩機	2					2
検索用器具	熱画像直視装置	1		1			2
水難救助用器具	潜水用具一式	10					10
	水中テレビカメラ	1					1
	救命用ボート	3					
	救命胴衣	20	4	4	4	2	34

消防水利の現況

(令和2年4月1日現在)

水利区分 市別	消火栓	防 火 水 槽					合 計
		小 計	100t以上	60t以上100t未満	40t以上60t未満	40t未満	
宗 像 市	951	441	27	149	246	19	1,392
福 津 市	760	273	8	181	58	26	1,033
計	1,711	714	35	330	304	45	2,425

いろいろな救急資器材

気道確保器具



救急救命士が、心肺機能停止状態の傷病者に対して、医師の具体的指示を受けて、使用する気道確保器具で、口から肺までの空気の通り道を確認することができます。

監視モニター(患者監視装置)



傷病者の心電図や心拍数、血圧、血液中の酸素飽和濃度を測定し、傷病者の状態を継続的に観察することができます。

脊椎固定具



交通事故などにより、脊椎損傷の可能性がある傷病者に対して、全身を固定することにより脊椎の動揺を防ぐことができます。

自動体外式除細動器(AED)



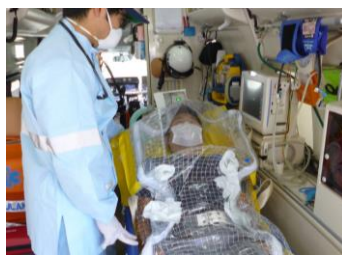
高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、心臓が停止状態の傷病者に対して、効果的な電気ショックを与えることができます。

電動吸引器



傷病者の口腔内または鼻腔内の嘔吐物や血液などを吸引することができます。

アイソレーター※令和2年導入



密閉式カプセル型の患者搬送用装置で、患者から排出される感染性の飛沫の拡散を防止できます。

救急資器材の配置状況

(令和2年4月1日現在)

区分	署所別	宗 像 署	福 津 署	赤間出張所	津屋崎・ 玄海出張所	合 計
外 傷 バ ッ グ		3	1	1	1	6
手 動 式 人 工 呼 吸 器		3	1	1	1	6
人 工 呼 吸 器		3	1	1	1	6
減 圧 式 固 定 具		3	1	1	1	6
C P R ボ ー ド		2	1	1	1	5
はさみ(レスキューシーザー)		3	1	1	1	6
喉 頭 鏡・マギール 鉗 子		3	1	1	1	6
自 動 式 心 肺 蘇 生 器		2	1	1	1	5
頸 椎 固 定 具(ファーノケット)		3	1	1	1	6
頸 椎 固 定 具(ヘッドイモビライザー)		3	1	1	1	6
骨 盤 固 定 ス リ ン グ(サムスリング)		3	1	1	1	6
電 動 吸 引 器 一 式		3	1	1	1	6
ド ア オ ー プ ナ ー		3	1	1	1	6
聴 診 器		1	1	1	1	4
ウ イ ン ド ポ ン チ		3	1	1	1	6
ボ ル ト ク リ ッ パ ー		3	1	1	1	6
患 者 監 視 装 置		3	1	1	1	6
血 糖 測 定 器		3	1	1	1	6
シ ョ ッ ク パ ン ツ		3	1	1	1	6
血 圧 計(携帯用アネロイド)		3	1	1	1	6
レ ス キ ュ ー セ ッ ト		3	1	1	1	6
AED(自動体外式除細動器)		3	1	1	1	6
バ ッ ク ボ ー ド 一 式		3	1	1	1	6
携 帯 用 酸 素 飽 和 度 測 定 器		3	1	1	1	6
ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー		3	1	1	1	6
カ ー デ ィ オ ポ ン プ		2	1	1	1	5

令和元年中の火災概況

1 出火件数

令和元年中の出火件数は30件であり、前年に比べ6件減少している。

火災種別ごとの件数をみると、「その他の火災」が14件と最も多く、出火件数の46.7%を占め、「建物火災」10件（33.3%）、「林野火災」5件（16.7%）、「車両火災」が1件（3.3%）となっている。

これらの出火件数を前年と比べると、「その他の火災」2件減少、「建物火災」7件減少、「林野火災」4件増加、「車両火災」1件減少となっている。

2 火災の損害・死傷者の状況

令和元年中の建物焼損棟数は16棟で、前年に比べ11棟減少している。焼損床面積については、491平方メートルで、前年に比べ1,215平方メートル減少している。

令和元年中の火災による損害額は、52,130千円で、前年に比べ72,034千円減少している。

令和元年中の火災による死傷者数は、死者については1人、負傷者については3人で、前年と比べ死者は1人増加、負傷者は3人減少している。

3 出火原因

令和元年中の出火件数30件のうち、出火原因については「たき火」が9件30%で上位を占めて、「たき火」が原因による火災は前年と比べ2件増加している。次に「たばこ」4件、「放火の疑い」3件となっている。

4 住宅用火災警報器

平成18年6月に新築住宅、平成21年6月から既存住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、宗像地区での設置率は75.0%（令和元年6月現在）となっている。

平成23年から平成30年までの住宅用火災警報器の奏功事例は15件あり、一定の効果をあげており、設置から10年以上経過している場合は住宅用火災警報器の交換を推奨し、日常の点検のしかたについても広報を行っている。

災害時覚書締結状況

大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書

被締結者 4 者 7 給油所

災害時における消防用水の確保に関する覚書

被締結者 4 者 3 事業所

火災の状況

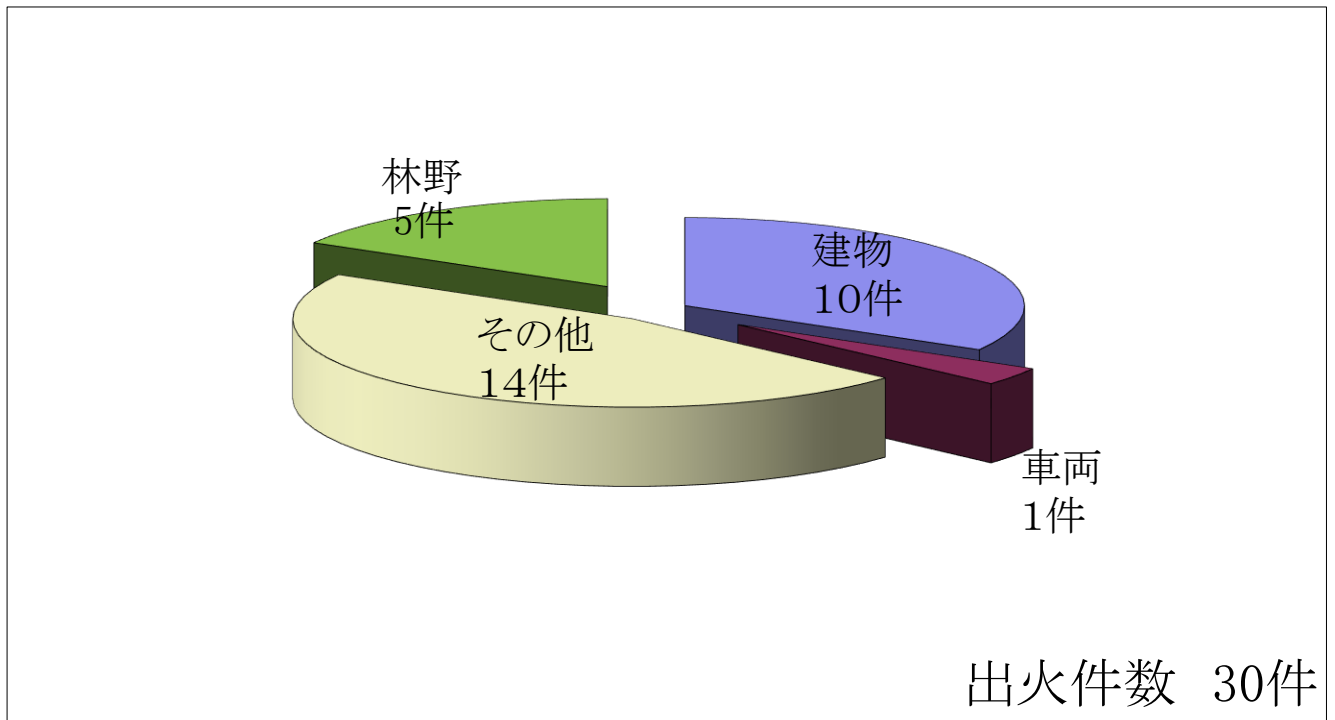
(過去2年間)

区 分		令 和 元 年	平 成 3 0 年	対 前 年 比	
出 火 件 数	件	30	36	△ 6	
	建 物 火 災	10	17	△ 7	
	林 野 火 災	5	1	4	
	車 両 火 災	1	2	△ 1	
	船 舶 火 災				
	航 空 機 火 災				
	そ の 他 の 火 災	14	16	△ 2	
焼 損 棟 数	棟	16	27	△ 11	
	全 焼	3	10	△ 7	
	半 焼	2	1	1	
	部 分 焼	3	2	1	
	ぼ や	8	14	△ 6	
焼 損 床 面 積 (建 物)	m ²	491	1,706	△ 1,215	
焼 損 表 面 積 (建 物)	m ²	9	3	6	
焼 損 面 積 (林 野)	a	29	1	28	
死 者 数	人	1		1	
負 傷 者 数	人	3	6	△ 3	
り 災 世 帯 数	世 帯	11	15	△ 4	
	全 損	2	4	△ 2	
	半 損	1		1	
	小 損	8	11	△ 3	
り 災 人 員 数	人	37	41	△ 4	
損 害 額	千 円	52,130	124,164	△ 72,034	
	建 物 火 災	33,698	123,881	△ 90,183	
	林 野 火 災				
	車 両 火 災	20	247	△ 227	
	船 舶 火 災				
	航 空 機 火 災				
	そ の 他 の 火 災	18,412	36	18,376	
全 火 災 1 件 当 り 損 害 額	千 円	1,738	3,449	△ 1,711	
建 物 火 災 1 件 当 り	損 害 額	千 円	3,370	7,287	△ 3,917
	建 物 焼 損 面 積	m ²	49.1	100.4	△ 51.3
	焼 損 棟 数	棟	1.6	1.6	
	り 災 世 帯	世 帯	1.1	0.9	0.2
	り 災 人 員	人	3.7	2.4	1.3
出 火 率	件	1.84	2.22	△ 0.38	
人 口	人	163,312	161,834	1,478	

(注) 出火率は、人口1万人当りの出火件数(人口は令和元年12月31日現在の住民基本台帳による)

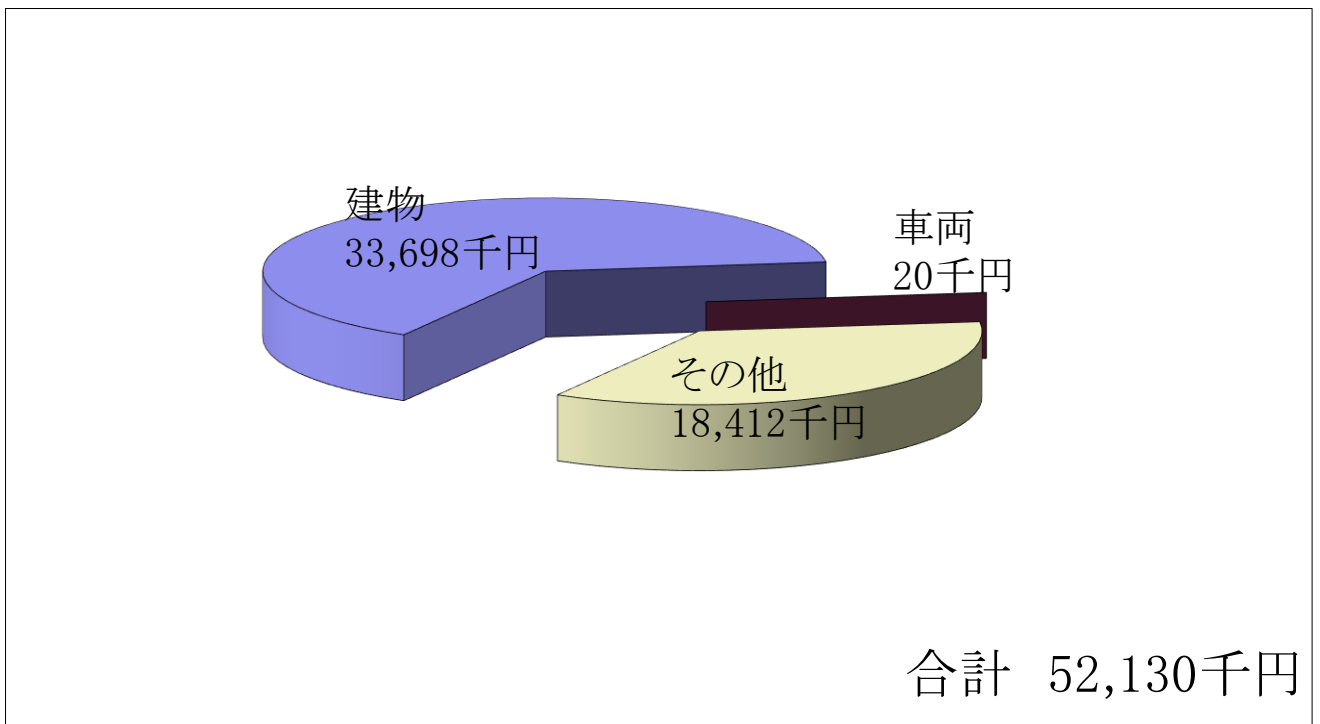
火災種別件数

(令和元年中)



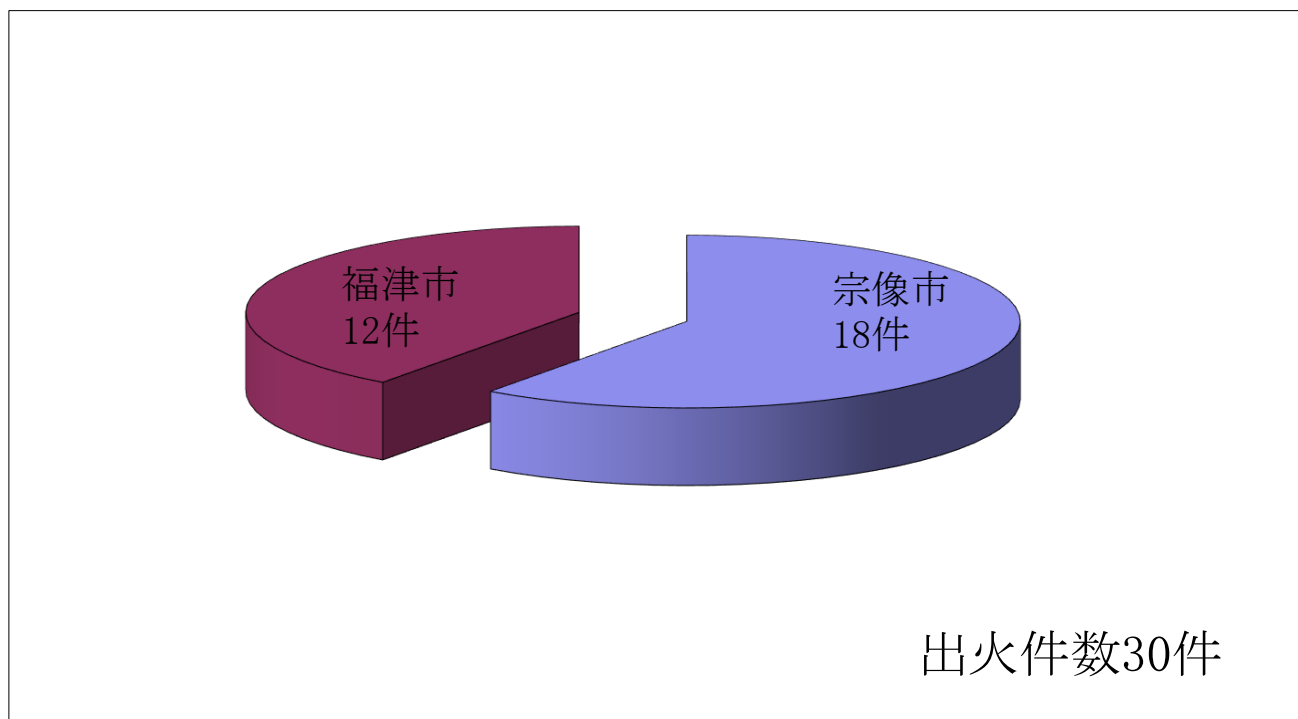
火災種別損害額

(令和元年中)



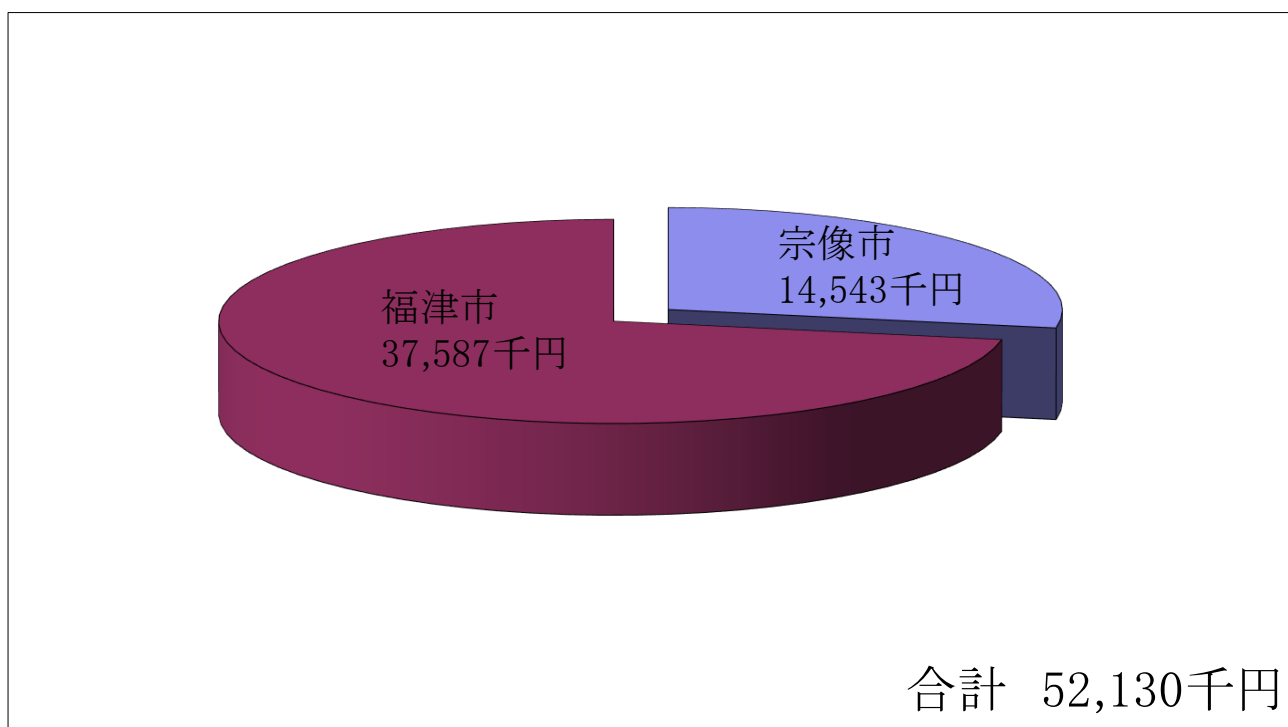
市別出火件数

(令和元年中)



市別損害額

(令和元年中)



宗像市内の火災状況

(令和元年中)

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件			1		1	3			4	5	4		18
建物火災	件									2	3	1		6
林野火災	件			1							1	1		3
車両火災	件									1				1
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件					1	3			1	1	2		8
焼損棟数	棟									2	7	1		10
全焼	棟										1			1
半焼	棟										2			2
部分焼	棟									1	2			3
ぼや	棟									1	2	1		4
焼損床面積(建物)	m ²									1	268			269
焼損表面積(建物)	m ²									5	3			8
焼損面積(林野)	a			10							9	9		28
死者数	人													
建物火災	人													
建物火災以外	人													
負傷者数	人										2	1		3
建物火災	人										1	1		2
建物火災以外	人										1			1
損害額	千円									920	13,495	128		14,543
建物火災	千円									900	13,495	116		14,511
林野火災	千円													
車両火災	千円									20				20
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円											12		12
り災世帯数	世帯									2	5	1		8
全損	世帯										1			1
半損	世帯										1			1
小損	世帯									2	3	1		6
り災人員	人									2	19	5		26

福津市内の火災状況

警防・救急

(令和元年中)

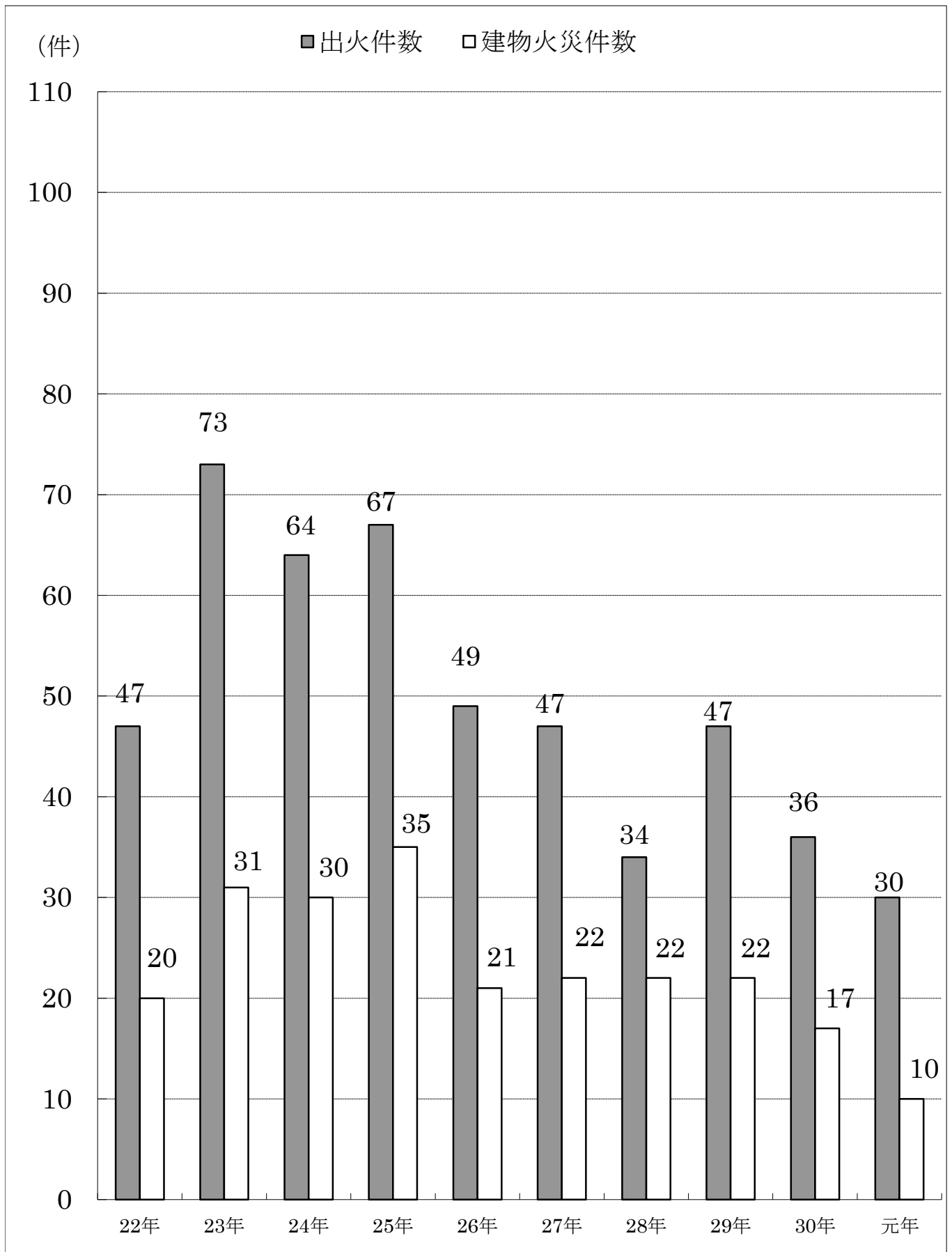
区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		出火件数	件	2	1	1	1	2	2	1			2	
建物火災	件		1	1		1					1			4
林野火災	件				1	1								2
車両火災	件													
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件	2					2	1			1			6
焼損棟数	棟		1	3		1					1			6
全焼	棟			1							1			2
半焼	棟													
部分焼	棟													
ぼや	棟		1	2		1								4
焼損床面積(建物)	m ²			187							35			222
焼損表面積(建物)	m ²		1											1
焼損面積(林野)	a				1									1
死者数	人			1										1
建物火災	人			1										1
建物火災以外	人													
負傷者数	人													
建物火災	人													
建物火災以外	人													
損害額	千円	18,400	16	18,733		10					428			37,587
建物火災	千円		16	18,733		10					428			19,187
林野火災	千円													
車両火災	千円													
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円	18,400												18,400
り災世帯数	世帯		1	2										3
全損	世帯			1										1
半損	世帯													
小損	世帯		1	1										2
り災人員	人		5	6										11

月別出火件数及び損害状況

(令和元年中)

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件	2	1	2	1	3	5	1		4	7	4		30
建物火災	件		1	1		1				2	4	1		10
林野火災	件			1	1	1					1	1		5
車両火災	件									1				1
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件	2				1	5	1		1	2	2		14
焼損棟数	棟		1	3		1				2	8	1		16
全焼	棟			1							2			3
半焼	棟										2			2
部分焼	棟									1	2			3
ぼや	棟		1	2		1				1	2	1		8
焼損床面積(建物)	m ²			187						1	303			491
焼損表面積(建物)	m ²		1							5	3			9
焼損面積(林野)	a			10	1						9	9		29
死者数	人			1										1
建物火災	人			1										1
建物火災以外	人													
負傷者数	人										2	1		3
建物火災	人										1	1		2
建物火災以外	人										1			1
損害額	千円	18,400	16	18,733		10				920	13,923	128		52,130
建物火災	千円		16	18,733		10				900	13,923	116		33,698
林野火災	千円													
車両火災	千円									20				20
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円	18,400										12		18,412
り災世帯数	世帯		1	2						2	5	1		11
全損	世帯			1							1			2
半損	世帯										1			1
小損	世帯		1	1						2	3	1		8
り災人員	人		5	6						2	19	5		37

過去10年間の出火件数の推移



原因別出火件数

(令和元年中)

月別 原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ		1			1		1		1				4
こんろ											1		1
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ													
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管									1				1
電気機器									1				1
電気装置													
電灯・電話等の配線										1			1
内燃機関													
配線器具					1								1
火遊び													
マッチ・ライター													
たき火			1	1	1	4				2			9
溶接機・切断機													
灯火													
衝突の火花													
取灰										1			1
火入れ	1									1			2
放火										1			1
放火の疑い						1					2		3
その他									1		1		2
不明・調査中	1		1							1			3
合計	2	1	2	1	3	5	1		4	7	4		30

過去10年間の主な出火原因の推移

出火原因	1位	たき火 11件	たき火 11件	たき火 16件	たき火 12件	たき火 13件	その他 12件	たばこ 5件	たき火 12件	たき火 9件	
	2位	たばこ こんろ	こんろ 10件	こんろ 9件	その他 9件	その他 7件	こんろ 5件	電灯・電話等の配線 4件	その他 5件	その他 7件	たばこ 4件
	3位	その他 6件	放火 7件	その他 7件	こんろ 8件	こんろ 火入れ 放火の疑い 3件	たき火 4件	たき火 放火の疑い その他 3件	電気機器 電灯・電話等の配線 3件	電気機器 5件	放火の疑い その他 不明・調査中 3件
出火件数		47件	73件	64件	67件	49件	47件	34件	47件	36件	30件
統計年		22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年

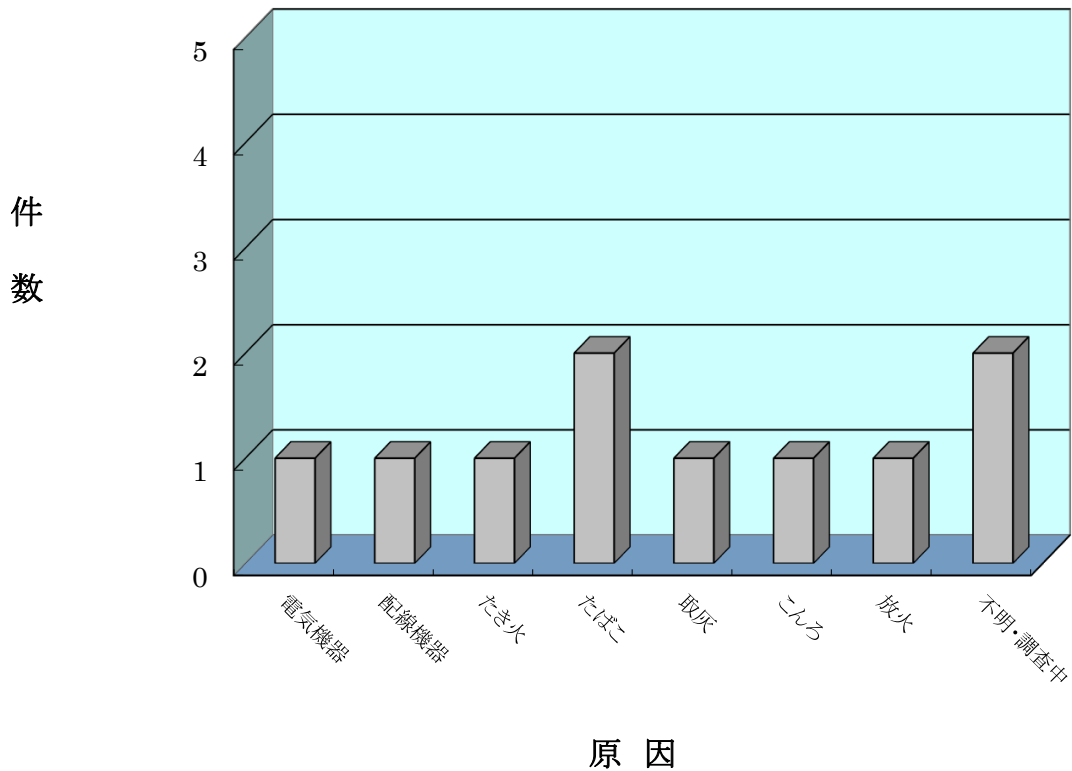
建物用途別出火件数

(令和元年中)

用途別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住 宅			1							1			2
共 同 住 宅		1							2	1			4
寄 宿 舎													
事 務 所													
店 舗					1						1		2
工 場													
作 業 場													
倉 庫													
納 屋													
物 置													
置 場													
車 庫													
養 畜 舎										1			1
そ の 他										1			1
計		1	1		1				2	4	1		10

建物火災の出火原因

(令和元年中)



覚知別出火件数

(令和元年中)

覚知別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災報知専用電話 (NTT以外の固定電話)													
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話)			1							1	1		3
火災報知専用電話 (携帯電話)	1	1	1	1	2	5	1		4	6	2		24
加入電話 (固定電話)											1		1
加入電話 (携帯電話)													
警察電話													
駆け付け通報													
事後聞知					1								1
その他	1												1
合計	2	1	2	1	3	5	1		4	7	4		30

曜日別火災概況

(令和元年中)

内訳	出火件数(件)							死傷者(人)		焼 損 面 積			損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	傷者	建物 (m ²)	表面積 (m ²)	林野 (a)	
日曜日	3	1	2						1	35		9	428
月曜日	2		1				1					1	
火曜日	5	2					3		1	141	1		20,933
水曜日	3	2					1				1		26
木曜日	7	2	1				4			128	7	9	11,843
金曜日	3	1					2						31
土曜日	7	2	1	1			3	1	1	187		10	18,869
不明													
合計	30	10	5	1			14	1	3	491	9	29	52,130

時間別出火概況

警防・救急

(令和元年中)

区分 時間別	出火件数(件)							死傷者(人)		焼損面積			損害額(千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物(m ²)	表面積(m ²)	林野(a)	
0～1	1	1											10
1～2													
2～3													
3～4	1						1						12
4～5	1						1						
5～6													
6～7													
7～8													
8～9	1						1						
9～10	3		1				2					9	
10～11	3	2					1			1	5		1,274
11～12	4	1	1	1			1	1	1	141	1	10	2,160
12～13	3		1				2		1			9	
13～14													
14～15	3	1	1				1				1		16
15～16	1						1						
16～17													
17～18	2	1					1			35			428
18～19	1	1							1				116
19～20	2	1	1									1	19
20～21													
21～22	1						1						18,400
22～23	1						1						
23～24	1	1						1		187			18,733
不明	1	1								127	2		10,962
合計	30	10	5	1			14	1	3	491	9	29	52,130

気象別出火件数

(令和元年中)

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
天候	晴	2	1	1	1	1	4	1		1	5	4		21
	曇					2	1			2	1			6
	雨			1						1	1			3
	雪													
	不明													
	計	2	1	2	1	3	5	1		4	7	4		30
風向	無風状態										1	1		2
	北						1			2	2			5
	北北東											1		1
	北東			1							2			3
	東北東						2			1		1		4
	東		1					1			1			3
	東南東					1	1			1				3
	南東													
	南南東													
	南			1										1
	南南西													
	南西					1					1			2
	西南西													
	西	2					1					1		4
	西北西													
	北西				1									1
	北北西					1								1
不明														
計	2	1	2	1	3	5	1		4	7	4		30	
風速 (m/s)	1未満										1	1		2
	1～2				1	1	2			1	1	2		8
	2～3	2	1	2		1	1			1	1			9
	3～4					1	1	1		1	1	1		6
	4～5						1				1			2
	5～6									1				1
	6～7										1			1
	7～8										1			1
	8以上													
	不明													
計	2	1	2	1	3	5	1		4	7	4		30	
湿度 (%)	40未満	1		1		1								3
	40～50	1					1							2
	50～60		1				1	1			2	1		6
	60～70				1	1	2			2	2			8
	70～80						1				1	2		4
	80～90			1						2	1	1		5
	90～100					1					1			2
	不明													
計	2	1	2	1	3	5	1		4	7	4		30	

月別・市別出動車両・出動人員

(令和元年中)

分類 月別 市別	出火 件数	出動 件数	事後 調査 件数	出動車両 (台)			出動人員 (人)		
				計	消防署	消防団	計	消防署	消防団
1 月	2	2		31	13	18	162	41	121
2 月	1	1							
3 月	2	2		34	14	20	193	44	149
4 月	1	1		23	6	17	116	17	99
5 月	3	2	1	8	8		22	22	
6 月	5	5		43	23	20	188	65	123
7 月	1	1		2	2		5	5	
8 月									
9 月	4	4		19	13	6	150	70	80
10 月	7	7		77	39	38	376	119	257
11 月	4	4		11	10	1	94	50	44
12 月									
合 計	30	29	1	248	128	120	1,306	433	873
宗像市	18	18		107	75	32	586	276	310
福津市	12	11	1	141	53	88	720	157	563

(注) 出動件数とは、出動指令により火災出動した件数で一連の火災調査も含む。
事後調査件数とは、事後通報により火災調査のみに出向した件数である。

令和元年中の救急概況

1 救急出動件数等の概況

令和元年中の救急自動車による救急出動件数及び救急搬送人員は、6,559件、6,147人であり、前年に比べると出動件数は101件、搬送人員は131人それぞれ減少した。

救急自動車による出動件数は、一日平均18.0件で、約80分に1件の割合で救急出動し、市民の約26.6人（前年約25.8人）に1人が救急自動車により搬送されたこととなる。

また、覚知から現場到着までの所要時間の平均は8.8分（前年の全国平均8.7分）、医療機関収容までの所要時間の平均は32.7分（前年の全国平均39.5分）となり、現場到着は全国平均より長くなったものの、医療機関収容は短くなっている。

なお、ヘリコプター使用による搬送件数及び搬送人員は、5件、5人であり、前年と比べると1件減少であった。

2 救急搬送人員の詳細

令和元年中の救急搬送人員を傷病程度別割合で見ると「軽症」が37.6%、「中等症」が56.7%を占めている。事故種別構成比で最も大きかったのは、全体の64.7%を占める「急病」であり、昨年と比べ118人減少しており、「一般負傷」は20人増加している。

年齢区分別割合で見ると「高齢者（65歳以上）」が、全搬送人員の63.8%を占めており、「成人（18歳以上65歳未満）」の25.9%を大きく上回っている。

今後、高齢化の一層の進展による人口構成の変化が見込まれており、救急需要は更に高まる可能性がある。

3 応急救護体制の充実

令和元年中は、救命講習及び救急講習を合わせ、計5,300人以上の市民に対し、応急手当普及啓発活動を行った。

市民が広くAEDを使用できる環境を目指し、平成29年度に開始した「むなかた・ふくつAEDステーション制度」では、6施設増加し計211施設となったが、24時間営業のコンビニエンスストアへAEDを設置させていただく「コンビニAED事業」では、1店舗減少し計49店舗となっている。

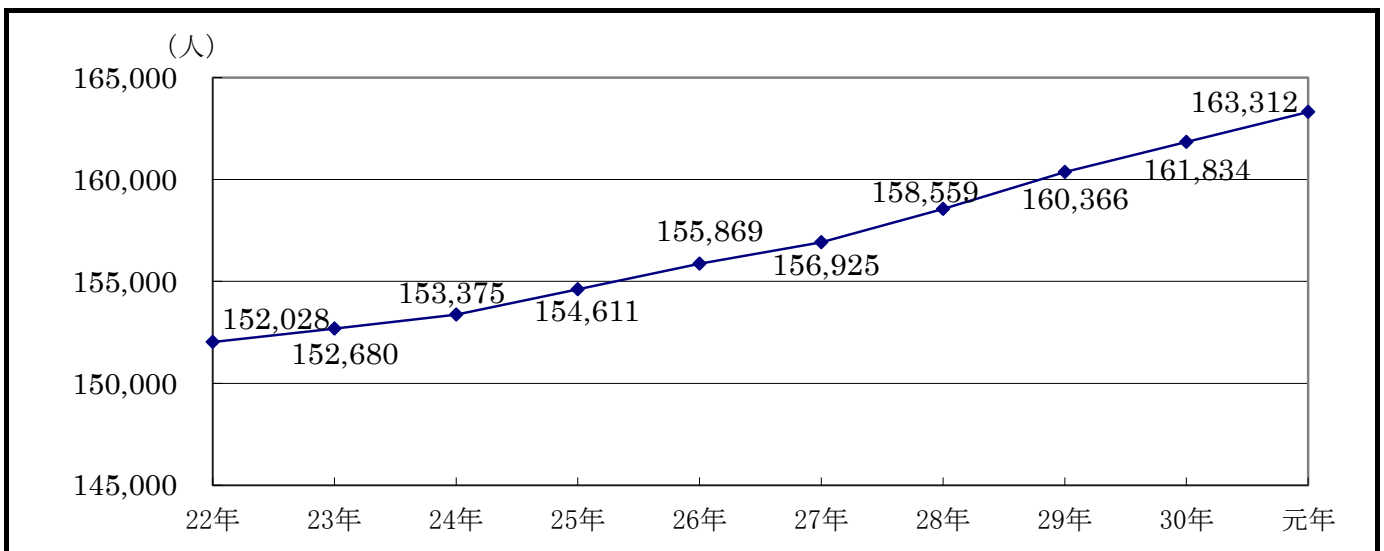
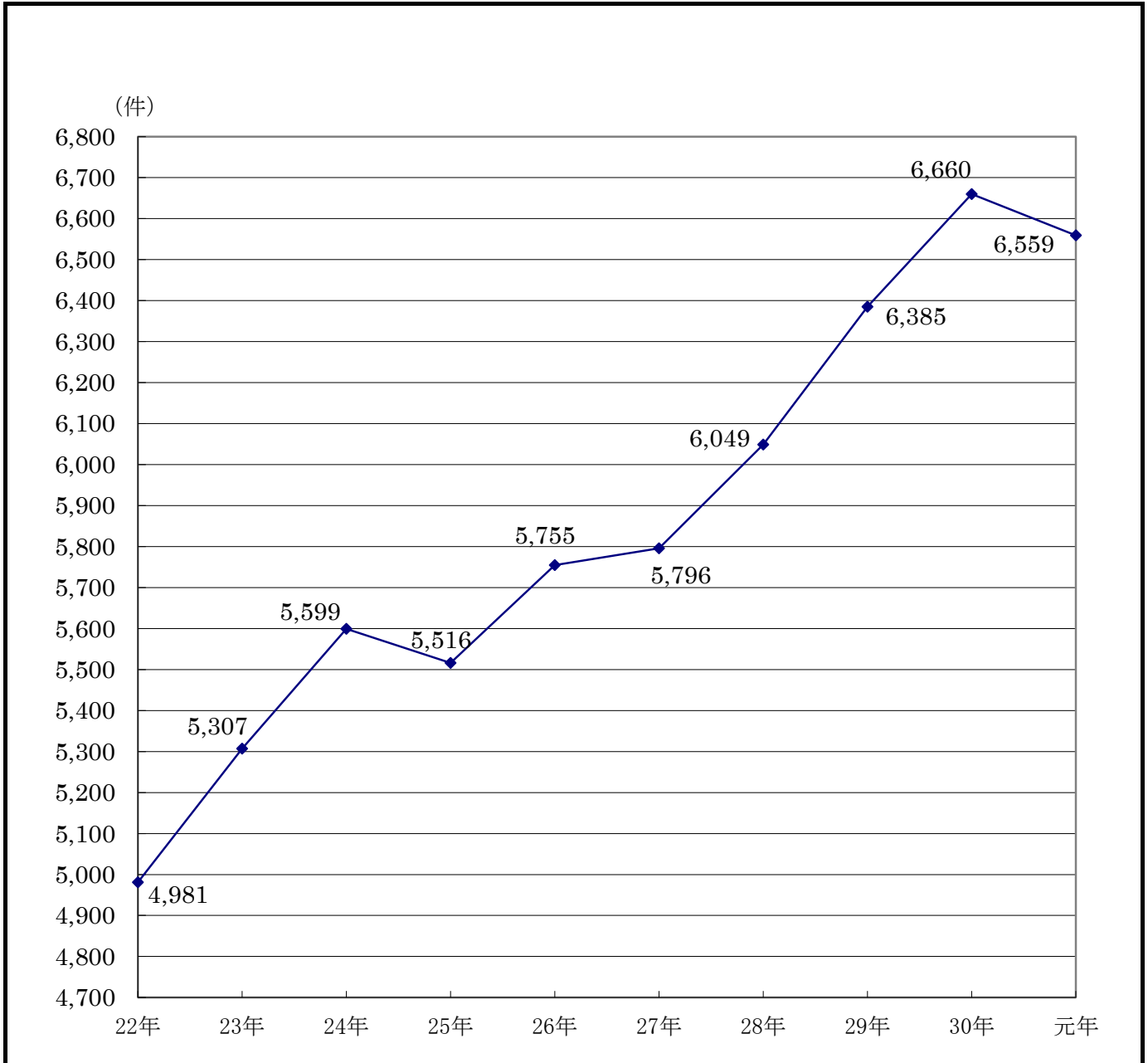
また、管内で開催される各種イベントにAEDを貸出す「AED貸出事業」では、12のイベント等に貸出しを行い、市民の周知度も高まっている。

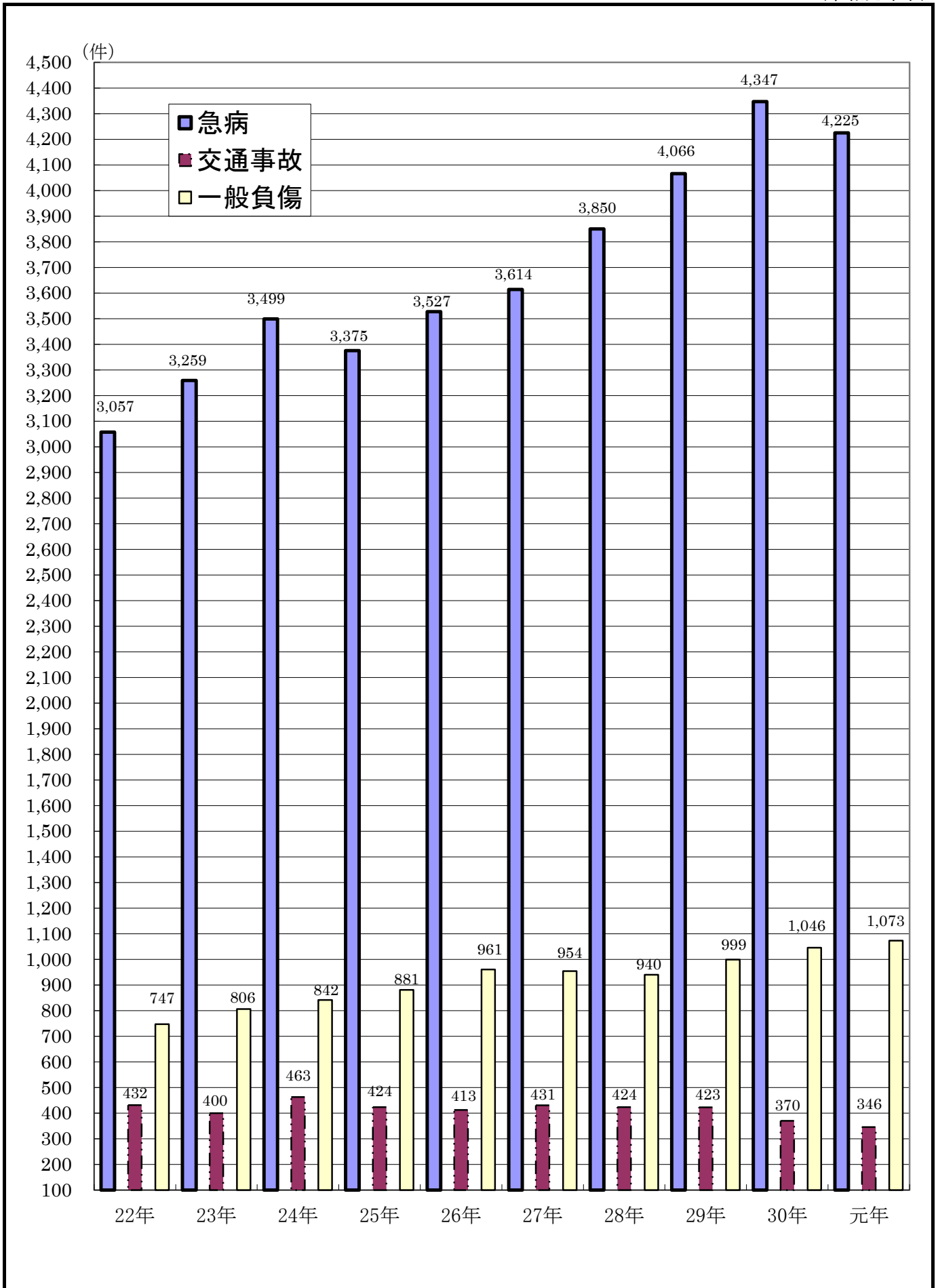
一方、応急手当実施者への感謝の意を伝えるとともに、応急手当実施後の不安や相談に応じる目的で「感謝カード」を作成し、応急手当実施者へ配布することで、バイスターサポート体制の充実化を図っている。

平成31年1月31日に宗像地区ファーストレスポnderを制度化、離島地域（大島地区、地島地区）の救命率の向上に繋げるため、心肺蘇生等の応急手当を行うことができる宗像地区ファーストレスポnder4人を養成し認定登録行うことができ、離島地域（大島地区、地島地区）の傷病者の救命率、社会復帰率の向上に取り組んでいる。

過去10年間の救急出動件数及び人口の推移

(令和元年中)





管内総括表

警防・救急

(令和元年中)

月別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資器材	その他		
出動件数	1	1			28	4	1	94	1	6	461	69				665	
	2	1		1	27	2	3	94			329	51			3	511	
	3	2			28	2	7	86	3	5	339	63			3	538	
	4				41	2	7	97		1	340	62			4	554	
	5				29	6	5	93		6	317	38			1	495	
	6	1		2	20	4	4	78		2	299	53			7	470	
	7			1	31	5	9	74	1	4	345	64			5	539	
	8			2	32	10	9	104		4	401	57			4	623	
	9	2	1		30	4	9	80	1	2	323	51			4	507	
	10	4	1		19	2	9	90	2	3	331	66			3	530	
	11	2			31	2	1	81		8	345	44			4	518	
	12				30	6	5	102	1	9	395	56			5	609	
	合計	13	2	6	346	49	69	1,073	9	50	4,225	674			43	6,559	
	前年	19	1	12	370	48	66	1,046	19	43	4,347	646		1	42	6,660	
搬送件数	1				24	4	1	91	1	4	428	69				622	43
	2			1	25	2	3	91			313	50			1	486	25
	3				22	2	7	76	2	1	321	62				493	45
	4				36	2	7	91			322	62				520	34
	5				27	6	5	90		1	294	38				461	34
	6			1	19	4	4	70			276	53				427	43
	7			1	30	5	9	69	1	2	328	64			1	510	29
	8			1	31	10	9	97		3	377	57				585	38
	9		1		28	4	9	71	1	1	303	51				469	38
	10	2	1		17	2	9	86	2	1	317	66				503	27
	11				26	2	1	79		1	323	44				476	42
	12				27	6	5	89	1	5	374	55				562	47
	合計	2	2	4	312	49	69	1,000	8	19	3,976	671			2	6,114	445
	前年	5	1	9	333	48	66	981	16	31	4,094	645			3	6,232	428
搬送人員	1				27	4	1	91	1	4	430	69				627	
	2			1	26	2	3	91			313	50			1	487	
	3				24	2	7	76	2	1	321	62				495	
	4				38	2	7	91			322	62				522	
	5				30	6	5	90		1	294	38				464	
	6			1	19	4	4	71			276	53				428	
	7			1	33	5	9	69	1	2	328	64			1	513	
	8			1	33	11	9	98		3	378	57				590	
	9		1		31	4	10	71	1	1	304	51				474	
	10	2	1		20	2	9	86	2	1	317	66				506	
	11				28	2	1	79		1	323	44				478	
	12				28	6	5	89	1	5	374	55				563	
	合計	2	2	4	337	50	70	1,002	8	19	3,980	671			2	6,147	
	前年	5	1	9	371	48	66	982	18	31	4,098	646			3	6,278	

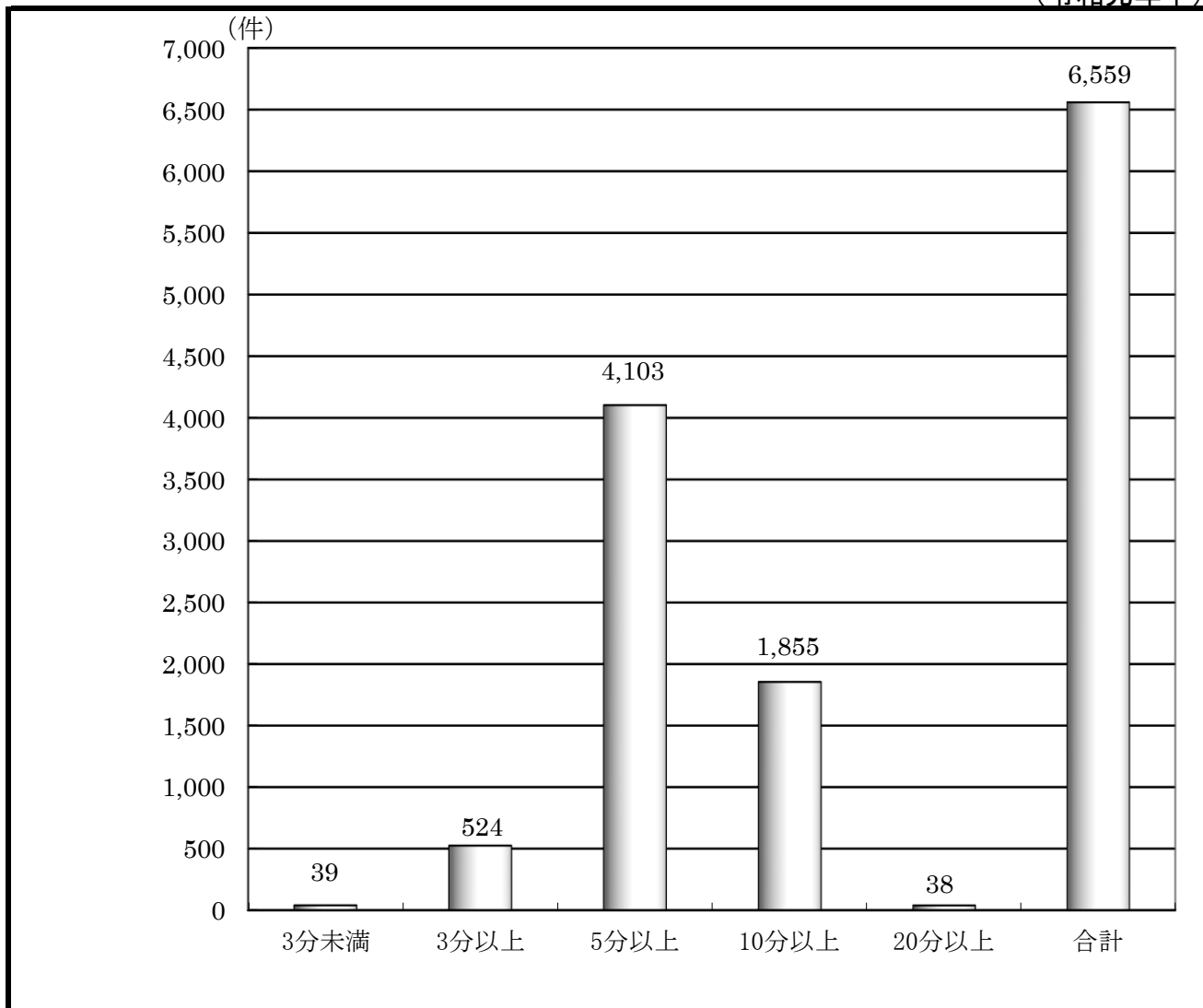
市別総括表

(令和元年中)

市別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資器材	その他		
出動件数	宗像市	7	1	4	205	31	58	668	3	21	2,581	452			25	4,056	
	福津市	6	1	2	141	18	11	405	6	29	1,643	222			18	2,502	
	管外										1					1	
	合計	13	2	6	346	49	69	1,073	9	50	4,225	674			43	6,559	
搬送件数	宗像市	2	1	3	188	31	58	621	3	6	2,415	450			2	3,780	276
	福津市		1	1	124	18	11	379	5	13	1,560	221				2,333	169
	管外										1					1	
	合計	2	2	4	312	49	69	1,000	8	19	3,976	671			2	6,114	445
搬送人員	宗像市	2	1	3	200	31	59	622	3	6	2,419	450			2	3,798	
	福津市		1	1	137	19	11	380	5	13	1,560	221				2,348	
	管外										1					1	
	合計	2	2	4	337	50	70	1,002	8	19	3,980	671			2	6,147	

救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況

(令和元年中)

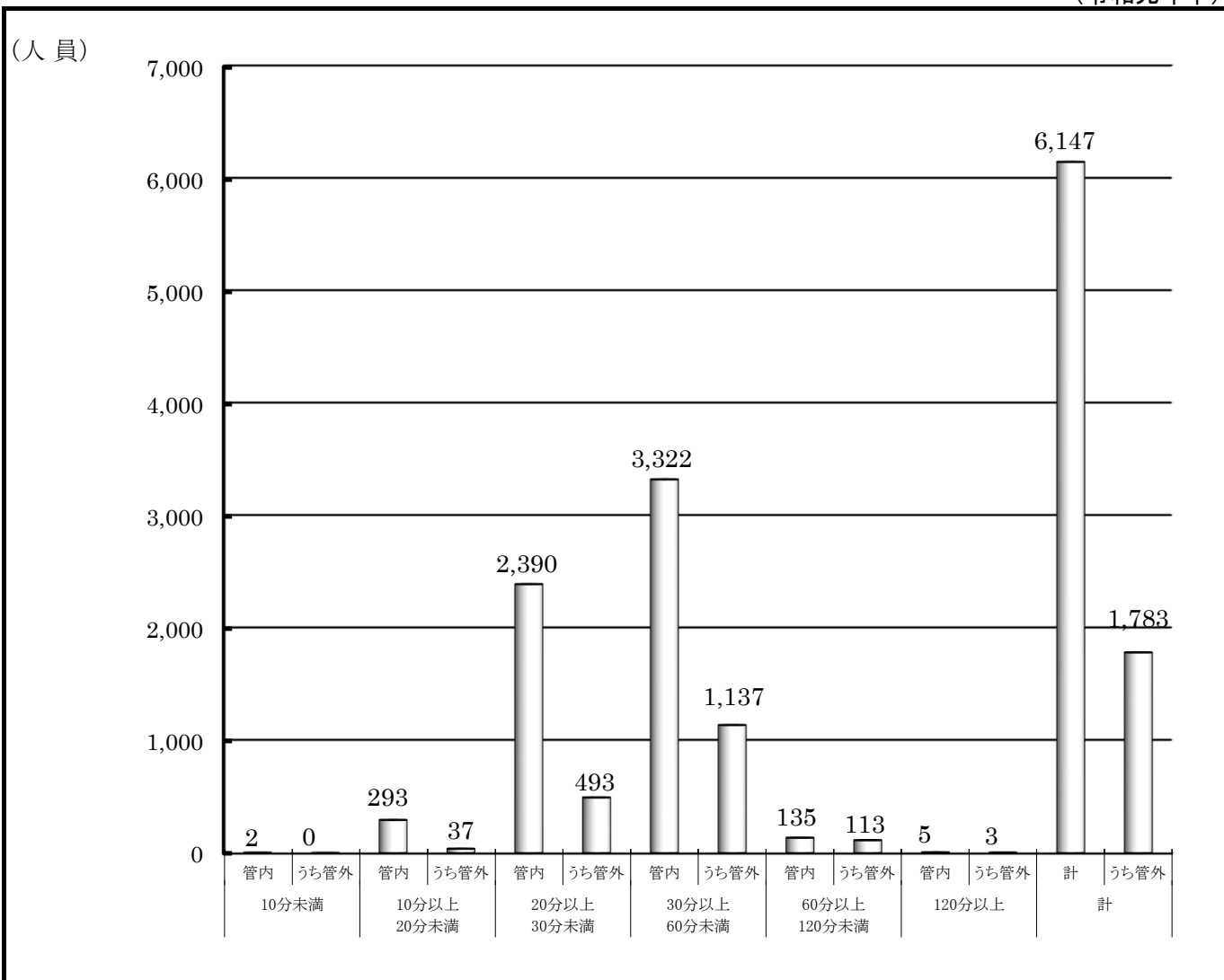


事故種別	現場到着所要時間					計	現場到着 平均 所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
合計	39	524	4,103	1,855	38	6,559	8.8
急病	25	288	2,735	1,162	15	4,225	8.7
交通事故	2	23	201	117	3	346	9.2
一般負傷	4	68	679	315	7	1,073	8.9
その他	8	145	488	261	13	915	8.7

(注) 1 現場到着所要時間とは、覚知から現場到着までに要した時間をいう。
 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

医療機関収容所要時間

(令和元年中)



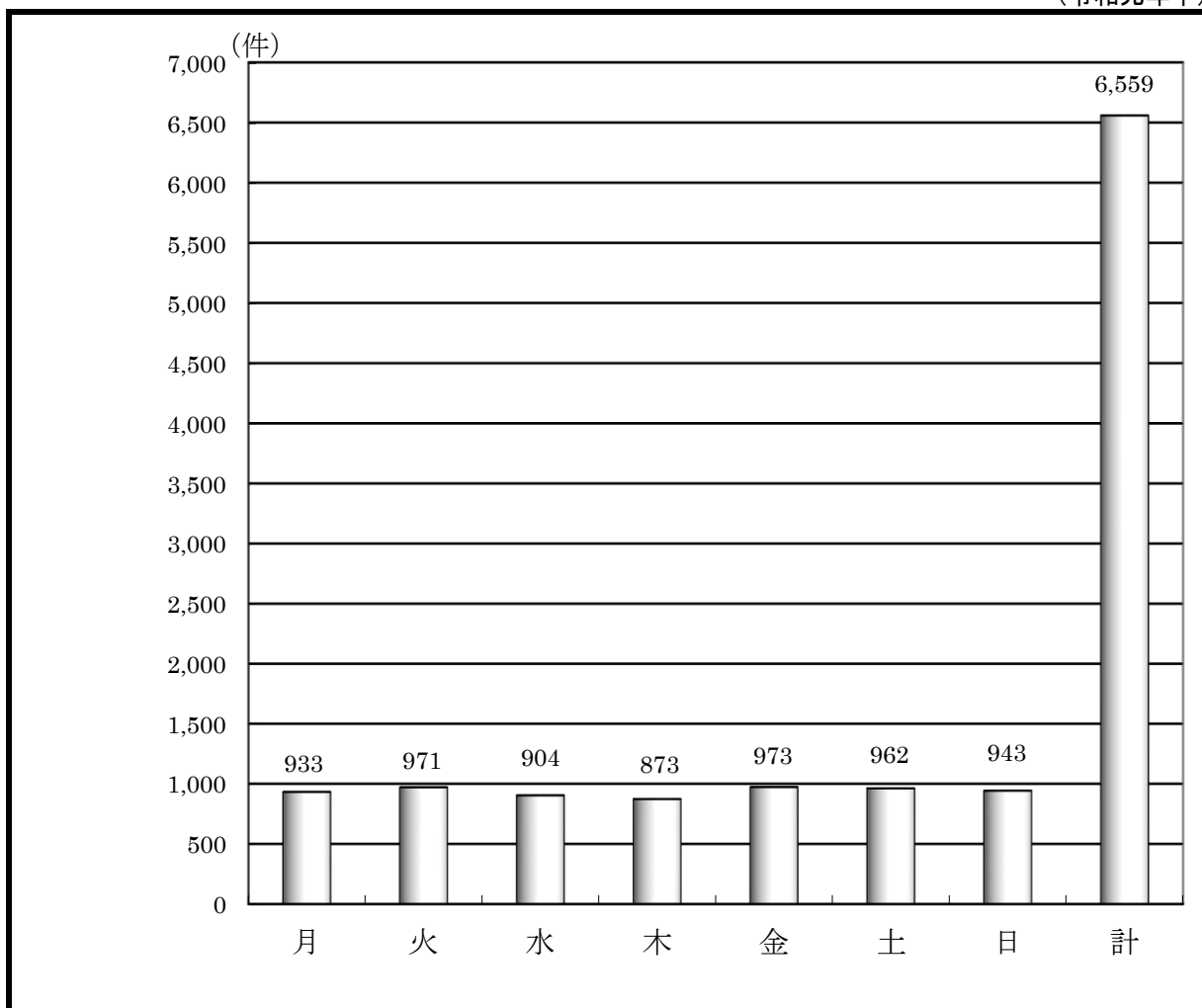
事故種別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計	収容平均 所要時間 (分)	
	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外			
合計	2	0	293	37	2,390	493	3,322	1,137	135	113	5	3	6,147	1,783	32.7
急病	1	0	180	23	1,484	298	2,230	682	83	68	2	1	3,980	1,072	32.6
交通事故	0	0	21	1	152	15	160	52	4	4	0	0	337	72	31.8
一般負傷	0	0	51	3	439	55	496	120	14	11	2	1	1,002	190	31.4
その他	1	0	41	10	315	125	436	283	34	30	1	1	828	449	35.0

(注) 1 収容所要時間とは、覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間をいう。
 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

曜日別出動件数

警防・救急

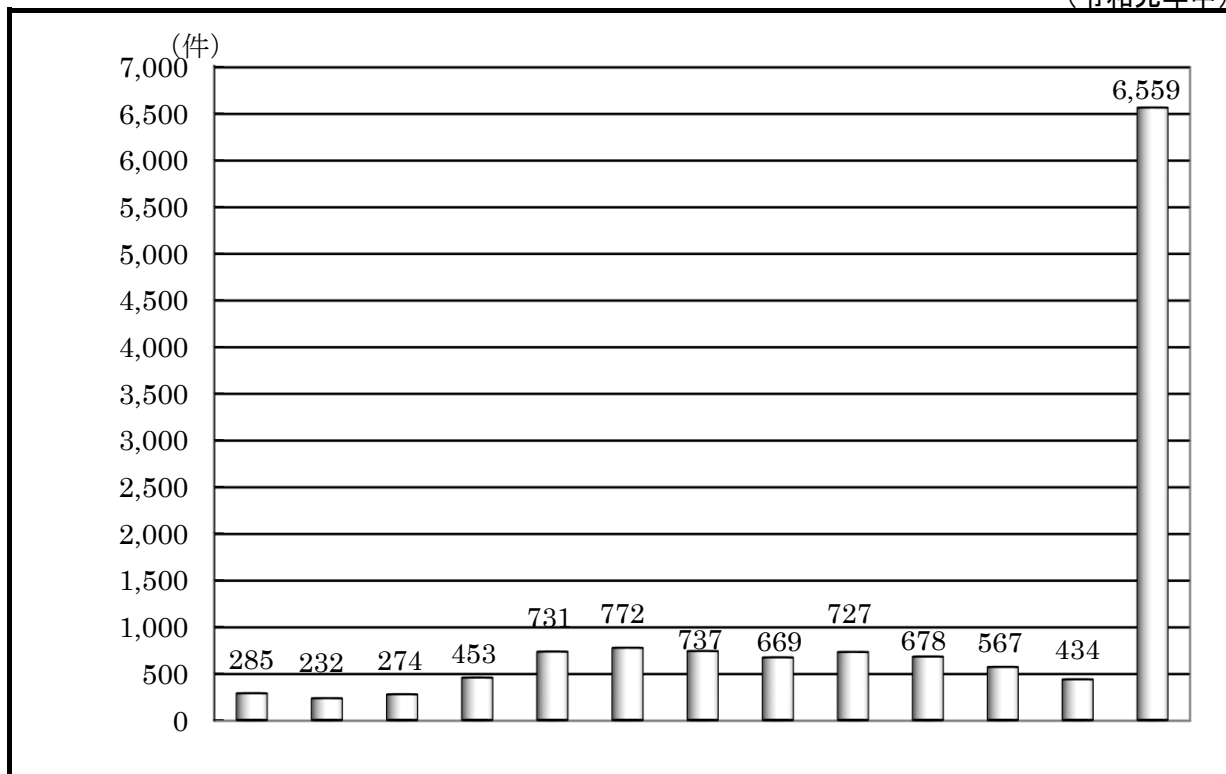
(令和元年中)



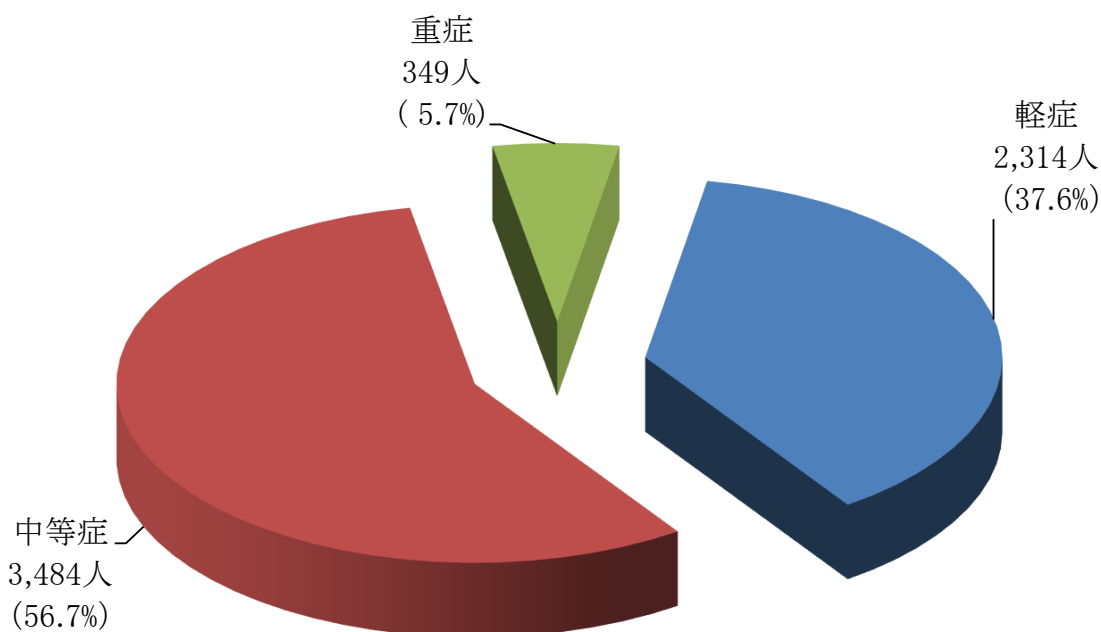
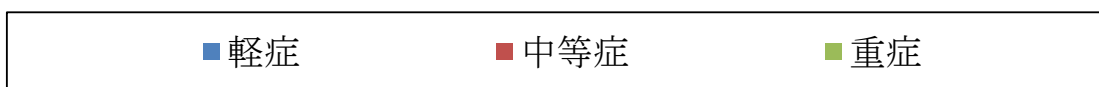
曜日 事故種別	月	火	水	木	金	土	日	計
合計	933	971	904	873	973	962	943	6,559
火災	1	2	2	4	1	2	1	13
自然災害						1	1	2
水難		1	1	1		1	2	6
交通事故	52	64	41	47	59	30	53	346
労働災害	9	6	14	6	5	6	3	49
運動競技	6	6	7	3	3	20	24	69
一般負傷	138	150	133	157	142	187	166	1,073
加害	1		3	1	2		2	9
自損行為	7	8	5	7	8	7	8	50
急病	634	615	591	543	604	612	626	4,225
その他	85	119	107	104	149	96	57	717
前年	1,007	911	894	885	940	1,010	1,013	6,660

時間別出動件数

(令和元年中)



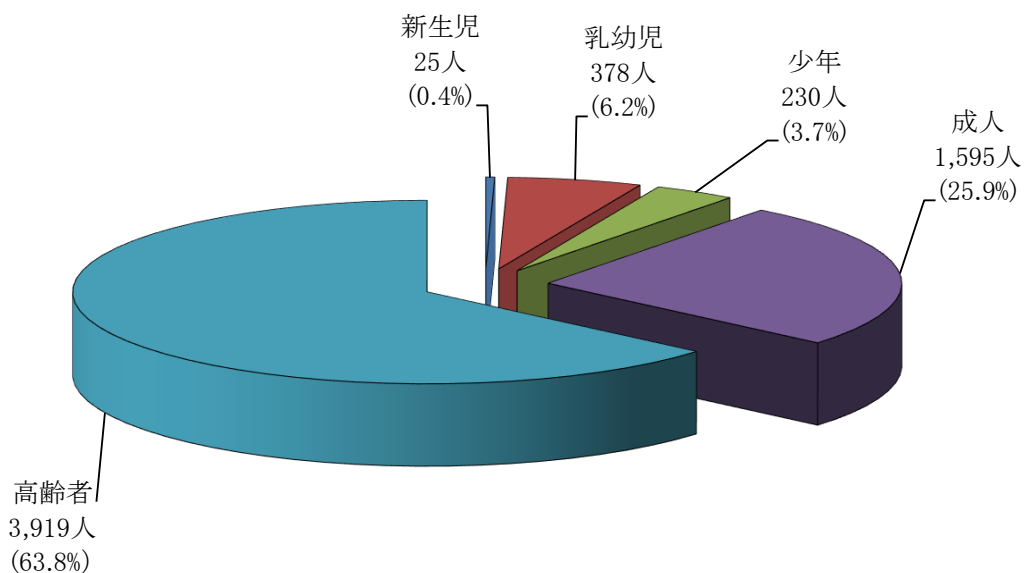
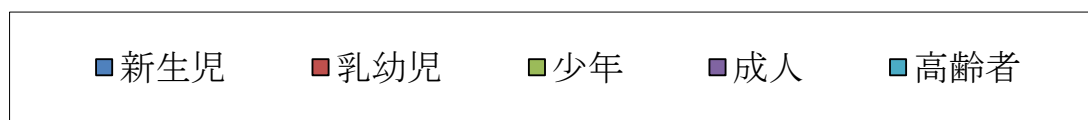
事故種別	時間別													計
	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22		
合計	285	232	274	453	731	772	737	669	727	678	567	434	6,559	
火災			1			2	2	1	2	2		3	13	
自然災害							1					1	2	
水難			1			1	1		2		1		6	
交通事故	8	3	8	22	35	36	41	52	55	51	26	9	346	
労働災害			1	2	7	11	6	7	11	4			49	
運動競技					3	14	18	13	15	4	2		69	
一般負傷	27	20	34	67	148	124	131	131	123	111	102	55	1,073	
加害	1	1		1		1	1		1	2	1		9	
自損行為	3	1	3	4	9	7	4	6	4	5	1	3	50	
急病	228	192	203	336	473	440	409	367	401	456	392	328	4,225	
その他	転院	17	14	19	17	51	134	121	86	106	40	41	28	674
	医師													
	資器材													
	その他	1	1	4	4	5	2	2	6	7	3	1	7	43
前年	300	215	265	504	739	798	743	667	735	745	542	407	6,660	



事故種別 程度別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
合計	2	2	4	337	50	70	1,002	8	19	3,980	673	6,147
軽症	1			209	21	43	505	6	6	1,473	50	2,314
中等症		2	3	111	26	26	456	2	11	2,312	535	3,484
重症	1		1	17	3	1	41		2	195	88	349
死亡												

年齢別搬送人員

(令和元年中)



年 齢	事故種別	事故種別											計
		火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	
新 生 児 (生後28日未満)								1			2	22	25
乳 幼 児 (生後28日以上7歳未満)				1	13			74			247	43	378
少 年 (7歳以上18歳未満)					25	1	50	32			102	20	230
成 人 (18歳以上65歳未満)		1		1	192	37	17	138	5	17	977	210	1,595
高 齢 者 (65歳以上)		1	2	2	107	12	3	757	3	2	2,652	378	3,919
合 計		2	2	4	337	50	70	1,002	8	19	3,980	673	6,147

救急隊員が行った応急処置等の状況

警防・救急

(令和元年中)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
処置対象人員	3,978	337	1,002	827	6,144
処置項目					
止血	22	9	40	11	82
固定	67	149	287	62	565
人工呼吸	38	6	4	7	55
酸素吸入	754	19	49	258	1,080
保温	1,075	65	214	251	1,605
被覆	18	67	212	26	323
心肺蘇生	89	8	10	10	117
うち自動式心マッサージ器使用	36	1	3	3	43
在宅療法	10		1		11
ショックパンツ					
血圧測定	3,803	322	950	771	5,846
心音・呼吸音聴取	3,868	327	906	757	5,858
血中酸素飽和度測定	3,914	332	990	819	6,055
心電図測定	3,761	269	865	737	5,632
気道確保	112	8	13	12	145
うち経鼻エアウェイを使用しての気道確保	1				1
うち喉頭鏡・鉗子等による異物除去	4		7	2	13
うちラリングマスク等を使用しての気道確保	24		2	3	29
うち気管挿管を使用しての気道確保			1		1
除細動	5				5
静脈路確保	66	5	7	3	81
薬剤投与	22	2	2	2	28
その他	3,820	299	949	778	5,846

(注) 1 1名につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の計の数とは一致しない。

2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

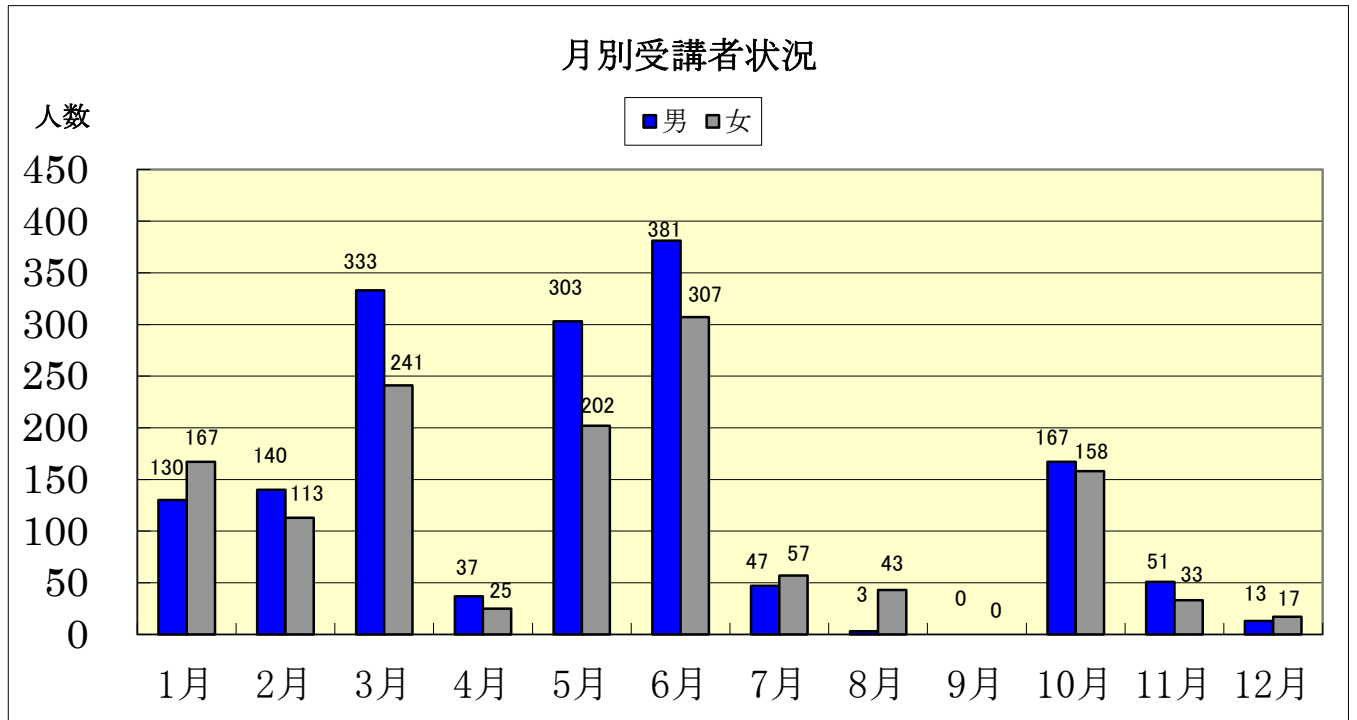
急病にかかる疾病分類別搬送人員

(令和元年中)

年齢区分		疾病分類										
		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
新生児	死亡											
	重症											
	中等症										1	1
	軽症									1		1
	小計									1	1	2
乳幼児	死亡											
	重症									1		1
	中等症		1	1	12		2			51	4	71
	軽症			10	14					130	21	175
	小計		1	11	26		2			182	25	247
少年	死亡											
	重症											
	中等症		3	1	2	2	8			15	10	41
	軽症		1	3	13	2	7			18	17	61
	小計		4	4	15	4	15			33	27	102
成人	死亡											
	重症	4	9		1	1	1	2	2	7		27
	中等症	37	25	61	31	25	21	23	8	108	169	508
	軽症	6	26	33	49	35	14	26	1	127	125	442
	小計	47	60	94	81	61	36	51	11	242	294	977
高齢者	死亡											
	重症	46	22	7	11				7	62	12	167
	中等症	179	216	129	266	6	28	31	36	281	519	1,691
	軽症	23	75	76	52	17	24	23	3	182	319	794
	小計	248	313	212	329	23	52	54	46	525	850	2,652
計	死亡											
	重症	50	31	7	12	1	1	2	9	70	12	195
	中等症	216	245	192	311	33	59	54	44	455	703	2,312
	軽症	29	102	122	128	54	45	49	4	458	482	1,473
合計		295	378	321	451	88	105	105	57	983	1,197	3,980

(注) 年齢区分は新生児(生後28日未満)、乳幼児(生後28日以上7歳未満)、少年(7歳以上18歳未満)、成人(18歳以上65歳未満)、高齢者(65歳以上)を示す。

(令和元年中)



月別	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						上級救命講習						合計	
	受講者数						受講者数							
	男	再講習	女	再講習	合計 (男・女)	再講習	男	再講習	女	再講習	合計 (男・女)	再講習	普通・上級	再講習
1月	130	17	167	24	297	41							297	41
2月	140	23	113	2	253	25							253	25
3月	333	7	241	16	574	23							574	23
4月	16	6	3		19	6	21	1	22	1	43	2	62	8
5月	303	41	202	3	505	44							505	44
6月	381	47	307	9	688	56							688	56
7月	47	8	57	6	104	14							104	14
8月	3	3	43	31	46	34							46	34
9月														
10月	154	18	154	23	308	41	13	7	4		17	7	325	48
11月	51	18	33	6	84	24							84	24
12月	13		17	11	30	11							30	11
小計	1,571	188	1,337	131	2,908	319	34	8	26	1	60	9	2,968	328
合計	2,908(319)						60(9)						2,968(328)	
累計	70,532(8,800)						2,715(229)						73,247(9,029)	

※ 令和元年中の救命講習 受講者総数 2,968人
 うち普通救命講習 受講者数 2,908人
 うち上級救命講習 受講者数 60人

※ 令和元年12月31日現在の救命講習 受講者総数 73,247人
 うち普通救命講習 受講者数 70,532人
 うち上級救命講習 受講者数 2,715人

※ 令和元年中の応急手当普及員講習 受講者数 4人
 ※ 令和元年中の救急講習回数～82回 受講者数～2,419人

消防隊による救急活動状況

・消防隊による救急活動件数

(令和元年中)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
活動件数	宗像市				9			8			47	13	77
	福津市				1	1					11	1	14
	管外												
	合計				10	1		8			58	14	91

※ 「消防隊による救急活動」とは、救急隊が現場到着まで10分以上要する場合に消防隊が先行出動し、救急隊に引継ぐまで応急処置等を行うもの。

・消防隊による救急支援活動件数

(令和元年中)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
活動件数	宗像市				37	1	1	30	1	15	170	7	262
	福津市			1	13	1		16	2	13	76	3	125
	管外												
	合計			1	50	2	1	46	3	28	246	10	387

※ 「消防隊による救急支援活動」とは、救急隊単隊では搬送困難な場合や救急活動に際し危険がある場合に救急隊と同時出動し、搬送支援または現場安全確保にあたるもの。

令和元年中の救助概況

令和元年中の救助出動件数は79件で、前年と比べると19件増加している。
救助活動件数は51件で、16件増加している。
なお、救助人員は47人で、前年と比べると8人増加している。(下表参照)

救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率	人員	対前年増減率
27年	24	▲11.1%	22	▲15.4%
28年	23	▲4.2%	23	4.5%
29年	22	▲4.3%	22	▲4.3%
30年	35	59.1%	39	77.3%
元年	51	45.7%	47	20.5%

事故種別ごとに出動件数をみると、最も多いのは、「建物等による事故」30件で全体の38.0%を占めている。次に「その他の事故」22件(27.8%)、以下「交通事故」18件(22.7%)、「水難事故」6件(7.6%)、「火災」1件(1.3%)、「機械による事故」1件(1.3%)、「ガス及び酸欠事故」1件(1.3%)となっている。

救助活動件数では、「建物等による事故」が最も多く18件で全体の35.3%を占めている。次に「その他の事故」17件(33.3%)、「交通事故」11件(21.6%)、「水難事故」3件(5.9%)、「火災」1件(2.0%)、「ガス及び酸欠事故」1件(2.0%)となっている。

救助人員は47人で、事故種別ごとにみると、「その他の事故」17人で最も多く、全体の36.2%を占めている。次に「建物等による事故」16人(34.0%)、「交通事故」11人(23.4%)、「水難事故」2人(4.3%)、「火災」1人(2.1%)、となっている。

※「その他の事故」とは、火災、交通事故、水難事故、風水害等自然災害事故、機械による事故、建物等による事故、ガス及び酸欠事故及び破裂事故以外の事故で消防機関による救助を必要としたものを言います。

管内総括表

(令和元年中)

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害 等害	機械 による 事故	建 物 等 に 故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	その 他 事 故	合計	前 年
出動件数 (件)	1	18	6		1	30	1		22	79	60
活動件数 (件)	1	11	3			18	1		17	51	35
救助人員 (人)	1	11	2			16			17	47	39
活動人員 (人)	156	166	45			120	21		163	671	326
活動車両台数(台)	25	59	16			36	7		55	198	103

主な救助活動

(令和元年中)

発生日	発生場所	事故種別	事故内容	出動状況		活動状況		救助人員
				人員	台数	人員	台数	
4月3日	宗像市	交通事故	2tトラックが前方の2tトラックに追突し、追突した車両の助手席に乗っていた要救助者が、左半身を車両に挟まれ、車外に脱出できないという交通救助事案に出動したものの。 大型油圧式救助器具及びグラスソーを活用し、追突したトラックの助手席側ピラー、フロントガラス及び助手席側ドアを切断。追突されたトラックの後部に可搬式ウインチを設定し、ピラーの拡張を実施。挟まれ部分の解放を行い、救急小隊のバックボードに収容し救出した。	14	5	14	5	1
6月27日	宗像市	水難事故	釣川に人が溺れているとの通報により水難救助出動したものの。 赤間警防小隊が要救助者を確保し、ファーストダイバー2名が入水して、ヘッドキャリー及び救命浮環を活用して岸に搬送し救急車内に収容した。	17	6	17	6	1
9月6日	福津市	交通事故	JR鹿児島本線の駅で、軽自動車がロータリーから軌道上に約7.4メートル墜落したという交通救助事案に出動したものの。 軽自動車はフロント部分が大破しており、運転手は意識レベルⅡ桁、顔面外傷及び腰部可動時痛が認められた。 救助隊及び福津署救助警防小隊が協力し、バックボードにて要救助者を車外へ救出した。	17	6	17	6	1
10月17日	宗像市	その他の事故	70歳代の女性が竹林斜面において倒れて動けないとの通報により救助出動したものの。 救助隊到着時、要救助者の意識レベルは清明であったが、倒れた竹により身動きが取れない状態であった。 要救助者の上にあった竹を除去し、スノーボードに収容、救急車停車位置まで徒手搬送し救出した。	11	4	11	4	1

市別救助出動件数

(令和元年中)

市別		火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害 等	よる 機械に る事故	建よる 物等に る事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その 事故 他	計
出動 件数	宗 像 市		14	5		1	15	1		16	52
	福 津 市	1	4	1			15			6	27
	管 外										
	合 計	1	18	6		1	30	1		22	79
市別		火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害 等	よる 機械に る事故	建よる 物等に る事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その 事故 他	計
活 動 件 数	宗 像 市		7	3			9	1		12	32
	福 津 市	1	4				9			5	19
	管 外										
	合 計	1	11	3			18	1		17	51
市別		火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害 等	よる 機械に る事故	建よる 物等に る事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その 事故 他	計
救 助 人 員	宗 像 市		7	2			7			12	28
	福 津 市	1	4				9			5	19
	管 外										
	合 計	1	11	2			16			17	47

月別救助出動件数

(令和元年中)

月別	火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害 等	よる 機械に る事故	建よる 物等に る事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その 事故 他	計	前 年
合 計	1	18	6		1	30	1		22	79	60
1 月		1				3				4	7
2 月		2	1			2			2	7	3
3 月	1	1			1	3			2	8	5
4 月		4				2			3	9	3
5 月		3				2	1		2	8	3
6 月			2			4				6	7
7 月		2							2	4	6
8 月			2			1			3	6	7
9 月		1				3			2	6	3
10 月						1			3	4	6
11 月		2				5			2	9	2
12 月		2	1			4			1	8	8

119番受信状況

(令和元年中)

	火 災		救 急		その他の 災 害		問合せ		まちがい		いたずら		試 験		その他		計	
	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯
1 月	2	2	712	521	21	17	27	17	29	20	0	0	13	2	84	64	888	643
2 月	5	4	531	366	7	5	28	20	40	31	1	1	40	0	77	46	729	473
3 月	8	7	557	410	12	10	33	26	66	47	1	1	45	1	124	88	846	590
4 月	3	3	517	387	9	6	38	27	32	16	5	1	55	0	86	56	745	496
5 月	9	8	543	393	13	13	24	17	36	18	1	0	33	0	107	69	766	518
6 月	4	4	488	381	11	11	33	28	45	18	4	1	32	0	117	77	734	520
7 月	7	6	627	483	44	32	45	32	47	17	5	1	18	0	117	73	910	644
8 月	8	7	602	446	13	12	37	32	30	16	4	0	5	0	89	66	788	579
9 月	2	2	507	384	17	15	34	26	42	20	2	0	8	0	111	75	723	522
10 月	10	9	542	410	15	9	35	28	37	22	4	1	24	1	101	76	768	556
11 月	15	15	565	435	11	8	31	24	46	18	4	0	29	0	107	71	808	571
12 月	1	1	536	398	16	13	31	19	46	17	8	1	25	0	85	63	748	512
合 計	74	68	6,727	5,014	189	151	396	296	496	260	39	7	327	4	1,205	824	9,453	6,624

無線局数

基地局数： 3 局
 移動局数： 77 局
 防災相互波・署活動系： 35 局

携帯電話数

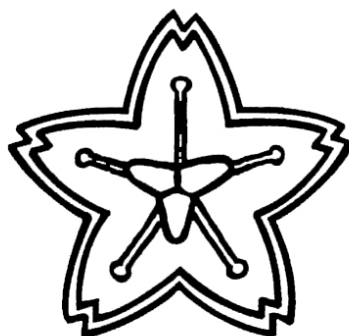
衛星携帯電話： 2 台
 携 帯 電 話： 23 台

令和2年4月1日 現在

消防団の活動

消防団は、郷土愛の精神と自らの郷土は、自らが守るという自主防災意識の高い人々により組織され、地域住民の尊い生命、財産を火災や台風・洪水などの災害から守るため日夜活躍しています。

勇気



宗像市消防団

福津市消防団

団結

迅速

令和元年度主な活動

6月



宗像地区合同水防訓練



福岡県女性消防操法大会

8月

- 福津市消防団機関員訓練(5月)
- 宗像市消防団機関員訓練(5~10月)
- 宗像市消防団全団員訓練(5月)
- 宗像地区合同水防訓練(6月)
- 宗像市合同分団訓練(6~1月)
- 福岡県女性消防操法大会(8月)
- 宗像市消防団中継訓練(10月)
- 秋季火災予防週間防火啓発パレード(11月)
- 福津・古賀団署合同火災防ぎょ訓練(11月)
- 宗像市消防団ブラインド訓練(11月)
- 年末夜警(12月)
- 宗像地区消防出初式(1月)
- 文化財防ぎょ訓練(1月)



福津・古賀団署合同火災防ぎょ訓練

11月

1月



文化財防ぎょ訓練



宗像地区消防出初式

1月

消防団の組織

(令和2年4月1日現在)

・宗像市消防団

団長 熊谷 浩文

	分 団 名	区 域	実 員	
副団長	本部分団	宗像市全域	21人	※
	第1分団	吉武地区	38人	
	第2分団	赤間地区	32人	
	第3分団	田久・土穴地区	28人	
	第4分団	自由ヶ丘地区	24人	
	第5分団	河東・赤間西地区	47人	
	第6分団	南郷(南部)地区	41人	
	第7分団	南郷(北部)地区	28人	
	第8分団	東郷地区	30人	
	第9分団	田熊・用山・村山田地区	33人	
	第10分団	日の里地区	26人	
	第11分団	田島地区	38人	
	第12分団	神湊地区	59人	
	第13分団	池野地区	33人	
	第14分団	岬地区	54人	
	第15分団	大島一円	32人	
第16分団	大島一円	32人		
団長	宗像市・県総合庁舎 合同分団	宗像市全域	25人	

※本部分団には、団長、副団長及び女性班を含む。

消防団の組織

(令和2年4月1日現在)

・福津市消防団

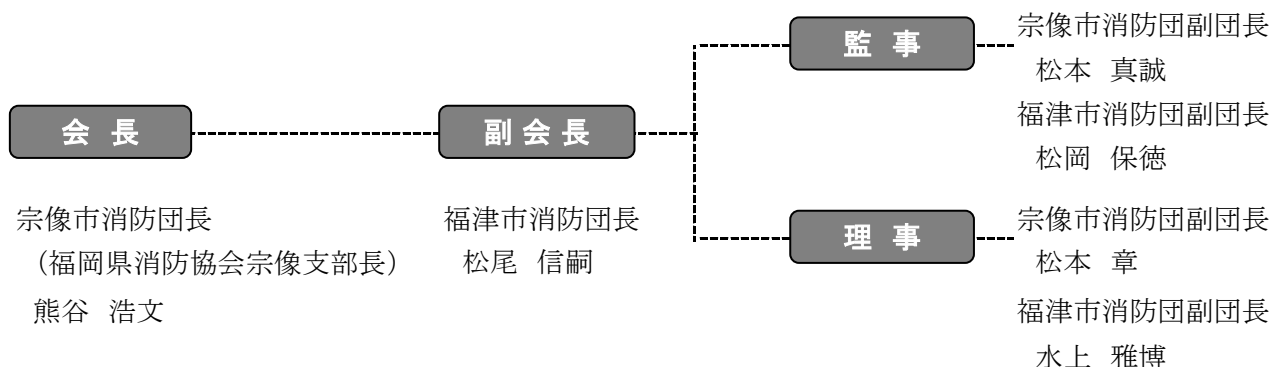
団長 松尾 信嗣

分団名	区 域	実 員	
本部分団	福津市全域	16人	※
第1分団	津屋崎地区各区・渡区の区域	31人	
第2分団	宮司地区各区・在自区、宮司ヶ丘地区、 五反田区、星ヶ丘区の区域	28人	
第3分団	須多田区、大石区・生家区、塩浜区、梅津区の区	20人	
第4分団	奴山区、桂区、西東区、勝浦浜区、 勝浦松原区の区域	19人	
第5分団	四角区、両谷区、光陽台1区・2区・3区・南区、 日蔭野1～6区の区域	28人	
第6分団	緑町、南町、本町区、昭和町1区、西福間1区、 大和1区・2区、古町区、福間松原区、 日蔭野1～6区の区域	27人	
第7分団	花見1区・2区・3区・4区、原町1区・2区・3区、 有弥の里1区・2区、日蔭野1～6区の区域	16人	
第8分団	手光区、通り堂区、光陽台4区・5区・6区、 小竹区、冠区、東福間1～11区、高平区の区域	17人	
第9分団	津丸区、久末区、若木台1～6区、桜川区、 あけぼの区、八波区の区域	24人	
第10分団	上西郷区、内殿区、舍利蔵区、 日蔭野1～6区の区域	25人	
第11分団	畦町区、本木区の区域	17人	
第12分団	福間沿岸	8人	
第13分団	津屋崎沿岸	16人	

※本部分団には、団長、副団長及び女性班を含む。

福岡県消防協会 宗像地区連絡協議会の組織

(令和2年4月1日現在)



消防団の定員および実員

(令和2年4月1日現在)

団員	市別	宗 像 市	福 津 市	計
定 員		634	361	995
実 員		621	292	913

消防団の出動状況

(令和元年中)

市 別	区 分	火 災 件 数	消 防 機 械 出 動 件 数	出 動 延 人 員
宗 像 市		18	18	310
福 津 市		12	11	563
合 計		30	29	873

消防ポンプ車等の装備状況

(令和2年4月1日現在)

市 別	区 分	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	計
宗 像 市		16		6	22
福 津 市		11	1	8	20
合 計		27	1	14	42